

# 中央区高齢者の生活実態調査および 介護サービス利用状況等調査

## 報告書 (概要版)

令和8(2026)年3月  
中央区



# 目次

I	調査の概要	1
1.	調査実施の目的	1
2.	調査の全体設計	1
3.	調査方法及び客体	2
II	調査結果	5
1.	高齢者向け調査の結果	5
(1)	健康づくり（介護予防）について（調査A、調査B）	5
(2)	日常生活の状況について（調査A、調査C）	7
(3)	今後の生活に関する意向について（調査A、調査C）	13
(4)	支え合い・たすけあいについて（調査A、調査B）	17
(5)	介護サービスの利用状況について（調査C）	19
(6)	家族介護者等への支援について（調査C、調査D）	22
(7)	認知症や権利擁護について（調査A、調査B、調査C）	25
(8)	災害時の対応について（調査A、調査C）	30
(9)	今後の高齢者保健福祉施策について（調査A、調査C）	33
2.	事業所・医療機関向け調査の結果	37
(1)	事業採算と需要バランスについて（調査F）	37
(2)	人材確保・人材育成について（調査F）	39
(3)	ICT機器・介護ロボットの活用について（調査F、調査G）	43
(4)	医療と介護の連携について（調査F）	44
(5)	在宅医療の現状と課題について（調査E、調査F、調査G）	45
(6)	認知症の方や家族の支援について（調査F、調査G）	48
(7)	地域の課題について（調査F）	51



# I 調査の概要

## 1. 調査実施の目的

本調査は、令和9(2027)～令和11(2029)年度を計画期間とする「中央区高齢者保健福祉計画・第10期介護保険事業計画」の策定に向けて、中央区の一般高齢者等および要介護・要支援認定者の生活実態、介護保険サービスを提供している事業者および医療機関の実態等を把握し、必要な資料を得ることを目的として実施した。

## 2. 調査の全体設計

本調査は、中央区の高齢者に対する調査（調査A～D）、区内の介護保険サービスを提供する事業者に対する調査（調査E・F）および医療機関に対する調査（調査G）の3つに大別される。

高齢者に対する調査には、区の独自調査に加えて、計画策定のためのツールとして国から示された「介護予防・日常生活圏域ニーズ調査」（調査B）および「在宅介護実態調査」（調査D）、「居所変更実態調査」（調査E）を含む。

調査結果から把握した実態やニーズを踏まえた施策の検討を目的として調査設計を行っており、それぞれの調査において、地域包括ケアシステムを構成する6つの分野「健康づくり（介護予防）」・「生活支援」・「認知症ケア」・「医療」・「介護」・「住まい」から対象者に合わせて項目および設問を設定している。

今回は第10期計画の策定にあたり、認知症施策推進計画を包含するため認知症に関する設問を追加し、実態を把握する。また、施設・居住系サービスにおける入退去の流れやその理由を把握し、住み慣れた地域での生活継続に必要なサービス機能の資料を得るため、新たに「居所変更実態調査」（調査E）を実施する。

また、前回からのインターネット回答導入は、有効回答の確保に一定の効果を発揮している。

高齢者が住み慣れた地域での生活を最期まで自分らしくいきいきと継続できるように、中央区スタイルの地域包括ケアシステムを一層深化していくため、この調査によって見えてきた課題等を施策の検討に活用していく。

# I 調査の概要

〔調査の全体設計〕

	属性 年齢	一般高齢者等	要支援認定者	要介護認定者
	高齢者等向け 調査	55～64歳	【調査A】高齢者福祉に関する生活実態調査	
65歳以上		【調査B】介護予防・日常生活圏域ニーズ調査	【調査C】要介護・要支援認定者調査	【調査D】在宅介護実態調査
介護保険サービス事業所 調査		【調査E】居所変更実態調査		
		【調査F】介護人材実態調査		
医療機関調査		【調査G】在宅医療・介護サービス提供者への調査		

○対象者の抽出基準日：令和7年10月1日

○要介護・要支援認定者には、40歳～64歳の第2号被保険者は含まない。

## 3. 調査方法及び客体

### (1) 調査期間

令和7年10月21日（火）～11月17日（月）

### (2) 調査方法

郵送配布、郵送またはインターネットにて回収、ハガキによる督促礼状1回

※「在宅介護実態調査」（調査D）は、令和7年6月～11月の間、認定調査員の聞き取り方式により実施した。

## (3) 各調査の客体、内容、回収状況等

調査名	調査客体	調査内容	回収状況
調査A 高齢者福祉に関する 生活実態調査	要介護・要支援認定を受けていない55歳以上の区民(一般高齢者等)  【抽出調査】	一般高齢者等の意識や生活実態、健康づくりの取組状況や生活習慣、社会活動への参加状況からみた課題やニーズを把握する。	・対象者数:3,000人 ・有効回答数:1,821件 (郵送:1,142、 インターネット:679) ・回収率:60.7%
調査B 介護予防・ 日常生活圏域 ニーズ調査	要介護・要支援認定を受けていない65歳以上の区民(一般高齢者)、 総合事業対象者(※) および要支援認定者  国による必須調査 【抽出調査】	介護状態になる前の高齢者のリスクや生活状況等を調査し、国の地域包括ケア「見える化」システムによる地域診断を活用して、地域の高齢者の抱える課題やニーズを把握する。	・対象者数:2,500人 ・有効回答数:1,848件 (郵送:1,535、 インターネット:313) ・回収率:73.9%
調査C 要介護・要支援 認定者調査	要介護・要支援認定者  【抽出調査】	要介護・要支援認定を受けた地域の高齢者の生活実態、生活状態からみた課題やニーズを把握する。	・対象者数:3,500人 ・有効回答数:1,992件 (郵送:1,641、 インターネット:351) ・回収率:56.9%
調査D 在宅介護実態調査	在宅で生活している要介護・要支援認定者のうち、 調査期間 (令和7年6月～11月)中に 更新申請または区分変更 申請に伴う認定調査を受けた者 国による必須調査 【全数調査】	「介護離職をなくしていくためにはどのようなサービスが必要か」といった観点から高齢者等の適切な在宅生活の継続および家族等介護者の就労継続などの実現に向けた介護サービスのあり方を検討する。	・対象者数:354人 ・有効回答数:354件 (介護保険認定調査員 による聞き取り:354) ・回収率:100%
調査E 居所変更実態調査	区内の介護保険施設・高齢者住宅  国による推奨調査 【全数調査】	高齢者施設やサービス付き高齢者向け住宅等において、過去1年間の入居・退去の流れや退去理由を把握することで、住み慣れた地域で生活を継続するために必要な機能や連携体制を検討する。	・対象施設数:17 ・有効回答数:11件 (郵送:3、 インターネット:8) ・回収率:64.7%
調査F 介護人材実態調査	区内の介護保険サービス事業所  【全数調査】	介護保険サービス事業所において、介護職員の雇用状況、採用・離職の動向、勤務環境などの実態を包括的に把握する。	・対象事業所数:105 ・有効回答数:63件 (郵送:41、 インターネット:22) ・回収率:60.0%
調査G 在宅医療・ 介護サービス提供者 への調査	区内の医師会、歯科医師会、薬剤師会の会員(医療機関)  【全数調査】	医療機関側からみた在宅医療支援の実態や課題等を把握する。	・対象機関数:600 ・有効回答数:289件 (郵送:175、 インターネット:114) ・回収率:48.2%

## I 調査の概要

### 〔報告書の見方〕

#### ・回収率(%)について

回収率(%)は小数点以下第2位を四捨五入しているため、合計が100%にならない場合がある。

#### ・図表の記載にあたっての選択肢について

本報告書における図表の記載にあたっては、回答の選択肢の文言を一部簡略化している場合がある。

#### ・複数回答について

複数回答を認める設問では、各選択肢の回答率は実際の回答者の実人数に対する各選択肢の回答者の実人数の割合であるため、回答率の合計が100%にならない場合がある。

#### ・回答数が少ない場合について

回答者数(n)が小さい数字になる場合は、統計的誤差が生じる可能性があるため注意が必要であり、30未満は傾向を見るにとどめ、本文中では意図的に触れていない。(ただし、第7章・介護人材実態調査では10以下について、触れている場合がある。)

#### ・「n」の表示について

図表内の「n」は回答者数を表している。

また、図表内の「-」は、その選択肢に回答者がいなかったことを表している。

#### ・地域(日常生活圏域)による比較について

高齢者の身近な生活圏域で、高齢者の生活の継続性が確保されるサービス提供体制を整備するため、「日常生活圏域」を定めている。本区においては、区民が最も馴染んでいる生活圏域であるとの観点から、「京橋地域」、「日本橋地域」および「月島地域」の3地域を日常生活圏域として設定している。



## Ⅱ 調査結果

### 1. 高齢者向け調査の結果

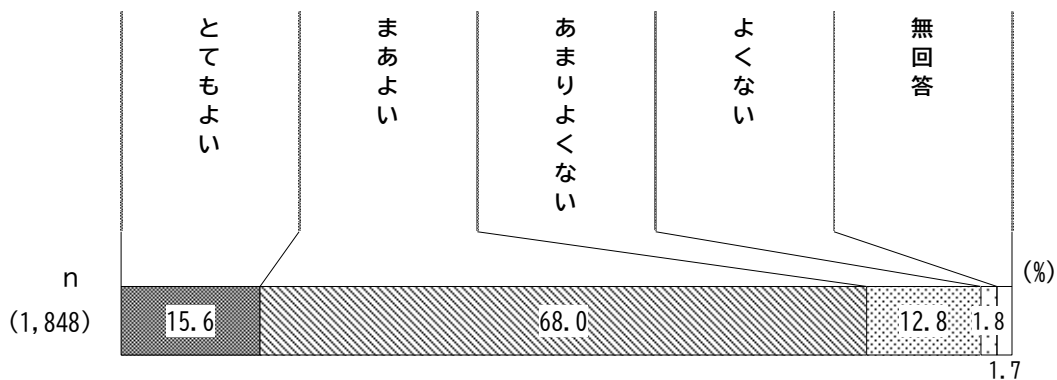
#### (1) 健康づくり（介護予防）について（調査A、調査B）

##### ①主観的健康感・幸福感（調査B問35、問36）

###### 主観的健康感

■「まあよい」が68.0%

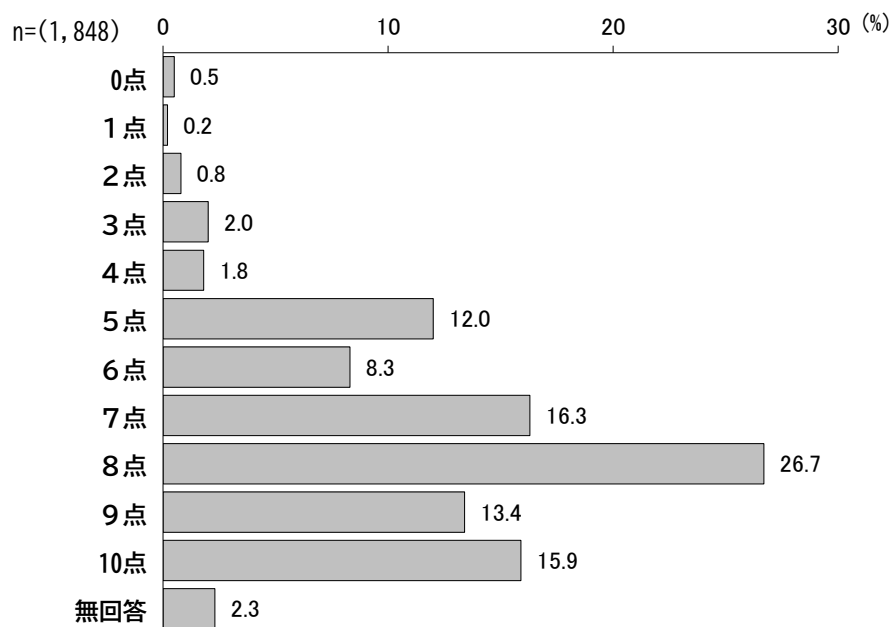
問35 現在のあなたの健康状態はいかがですか。（○は1つ）



###### 主観的幸福感

■「8点」が26.7%で、『7点以上』は72.3%

問36 あなたは、現在どの程度幸せですか。（「とても不幸」を0点、「とても幸せ」を10点として、点数に○をつけてください）



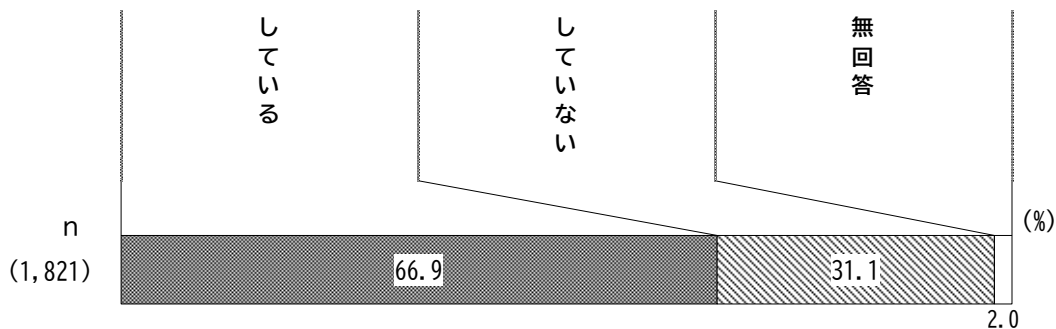
## II 調査結果

### ②健康づくり・介護予防の取組状況（調査A問20、問20-3、問25）

#### 運動習慣の有無

■「している」が66.9%

問20 あなたは、健康づくりのための運動や体を動かす活動をしていますか。（○は1つ）

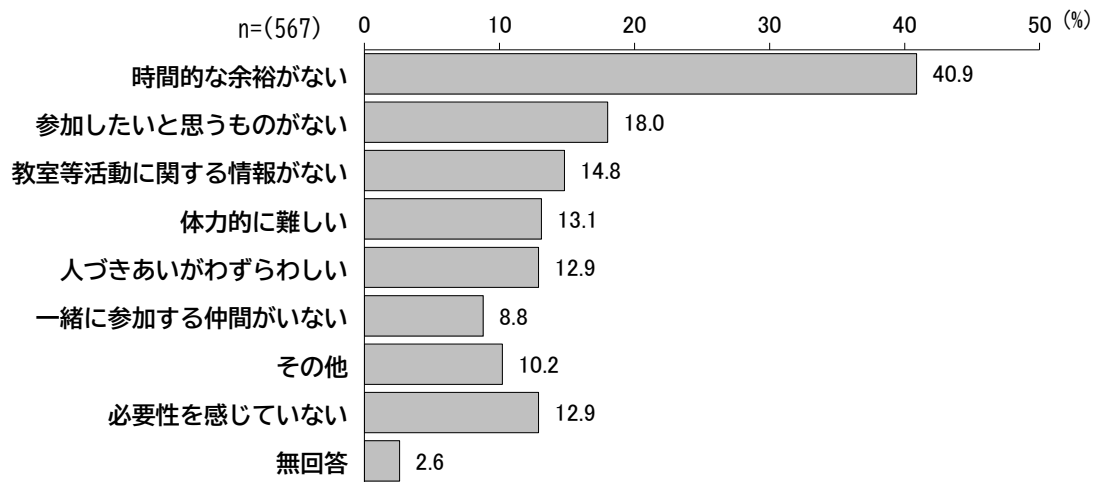


#### 習慣がない理由

■「時間的な余裕がない」が40.9%

【問20-3は、問20で「2. していない」と答えた方におうかがいします】

問20-3 運動や体を動かす活動をしていない理由は何ですか。（○はいくつでも）



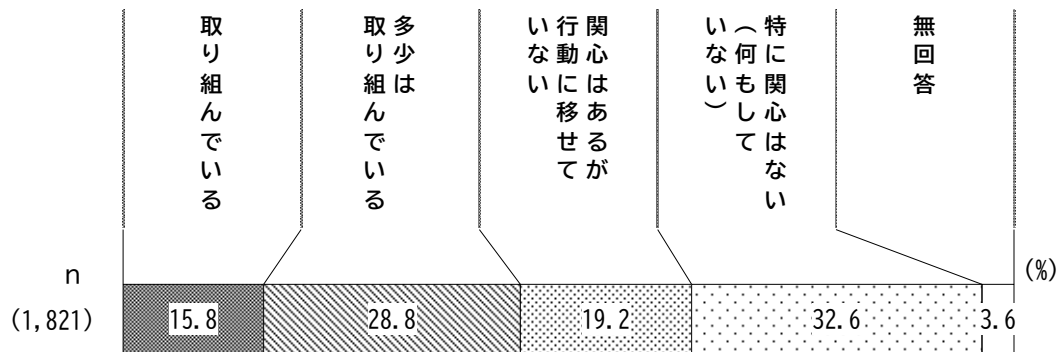
〈その他の回答〉

○健康上の理由 ○運動する意欲がない ○運動が苦手

介護予防・フレイル予防の取組状況

■「特に関心はない（何もしていない）」が32.6%、多少は取り組んでいる」が28.8%

問25 介護予防・フレイル予防に取り組んでいますか。（○は1つ）



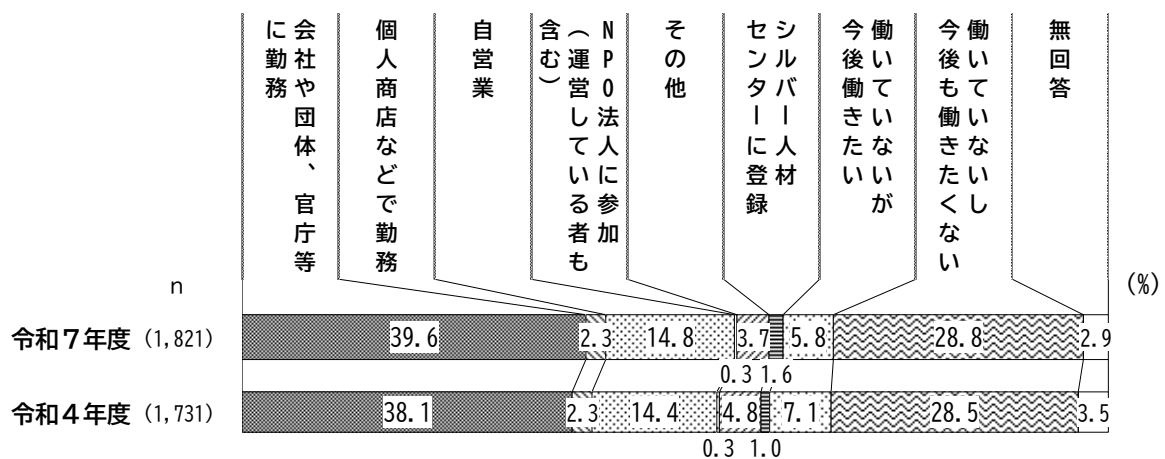
(2) 日常生活の状況について（調査A、調査C）

①高齢者の就労状況と継続希望年齢（調査A問9、問9-3）

就労状況

■「会社や団体、官庁等に勤務」が39.6%、「働いていないし後も働きたくない」が28.8%

問9 あなたは現在、働いていますか。複数の仕事をしている場合は収入の最も多いものをお答えください。（○は1つ）

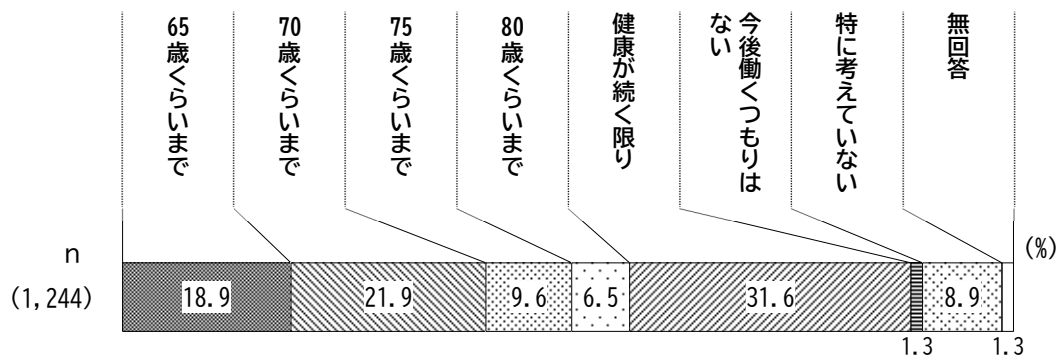


## II 調査結果

### 仕事を続けたい年齢

■「健康が続く限り」が31.6%

【問9-2から9-6は、問9で「1. 会社や団体、官庁等に勤務」「2. 個人商店などで勤務」「3. 自営業」「4. NPO法人に参加（運営している者も含む）」「5. その他」「6. シルバー人材センターに登録」「7. 働いていないが今後働きたい」と答えた方におうかがいします】  
問9-3 何歳くらいまで仕事をしたいですか。（○は1つ）

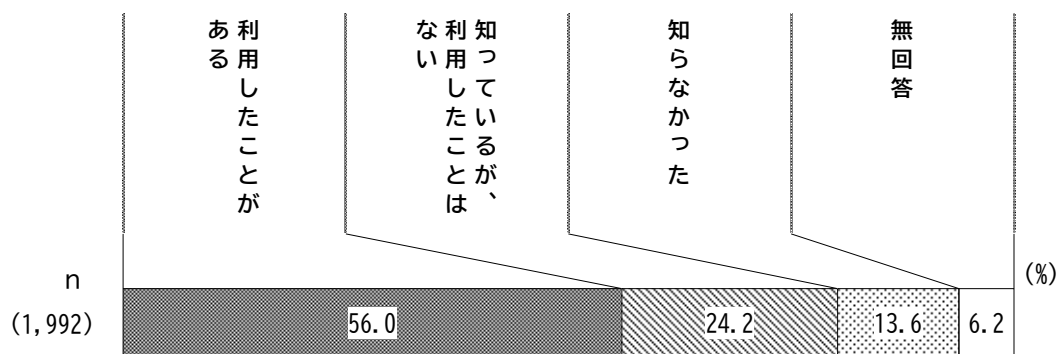


## ②相談先や孤独感（調査C問32、調査A問15／調査C問31、調査A問16／調査C問15）

### 「おとしより相談センター」の認知・利用状況

■「利用したことがある」が56.0%

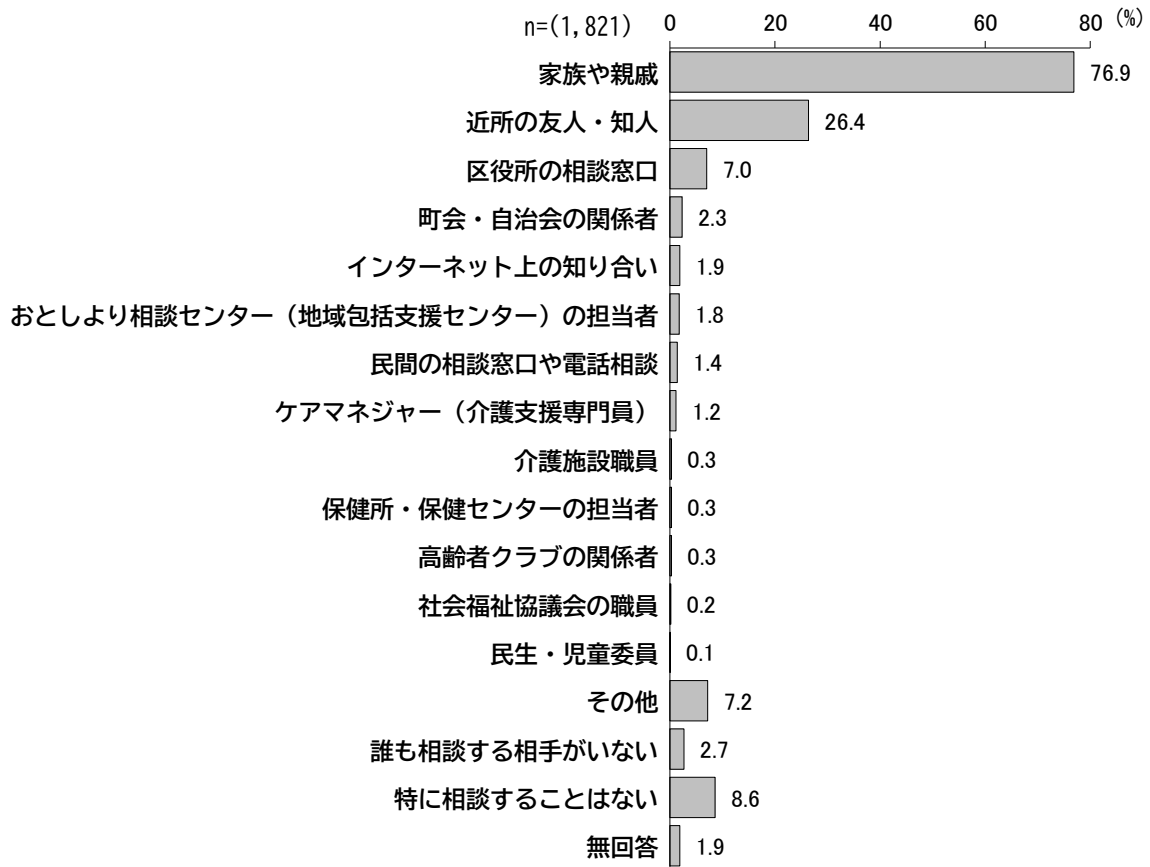
問32 あなたは、「おとしより相談センター（地域包括支援センター）」をご存知ですか。（○は1つ）



困ったときの相談先／一般高齢者等

■「家族や親戚」が76.9%、「近所の友人・知人」が26.4%

問15 あなたは、普段の生活で困ったとき、誰に相談していますか。(〇は3つまで)



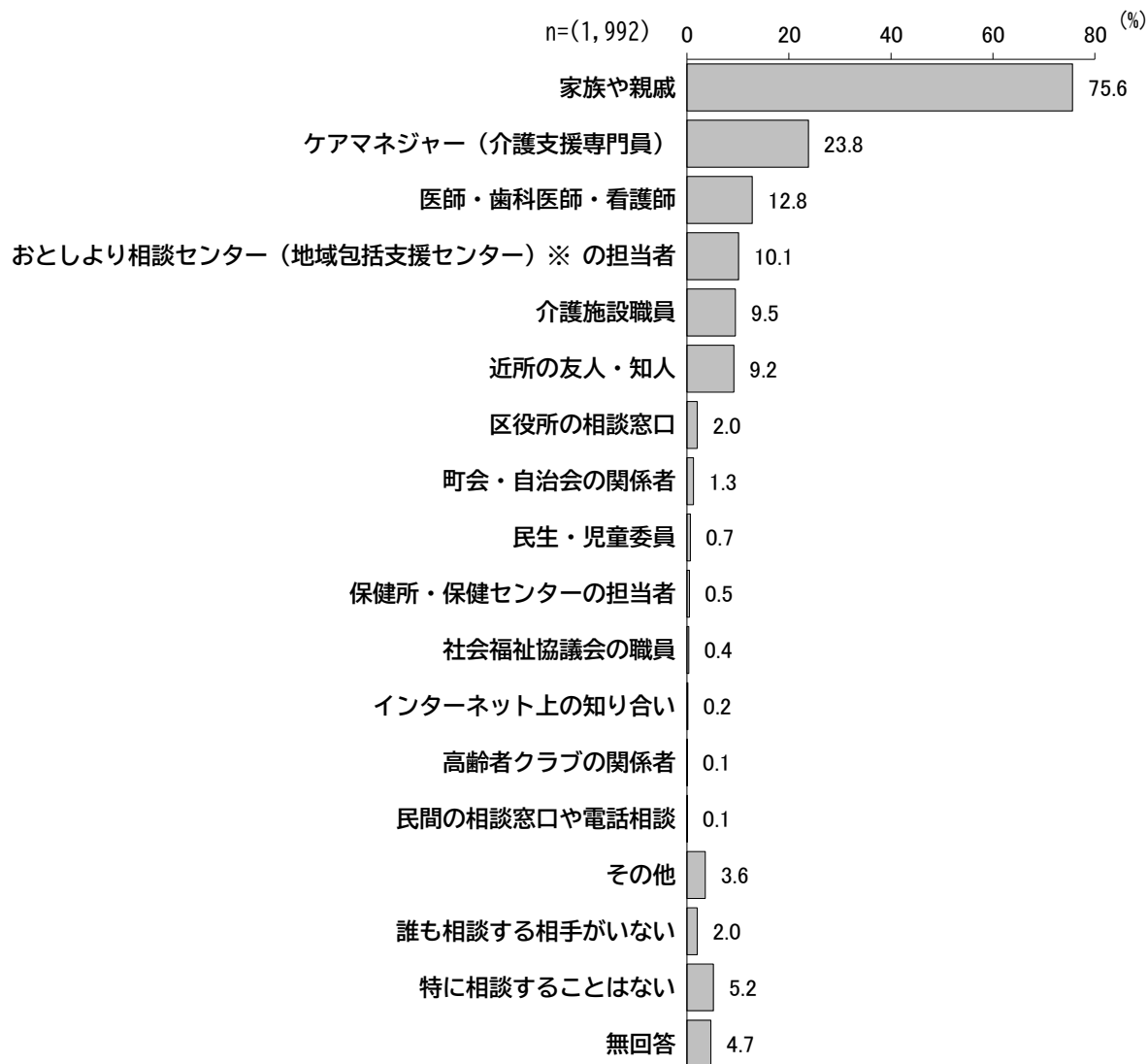
※おとしより相談センター（地域包括支援センター）…高齢者が住み慣れた地域で安心して生活していくために、介護保険・福祉サービスの利用方法、介護認定の手続きや権利擁護に関する相談・支援等を行う機関として、社会福祉士、主任介護支援専門員、保健師等を配置し、京橋、日本橋、月島の3地域に設置されています。

## II 調査結果

### 困ったときの相談先／要介護・要支援認定者

#### ■「家族や親戚」が75.6%

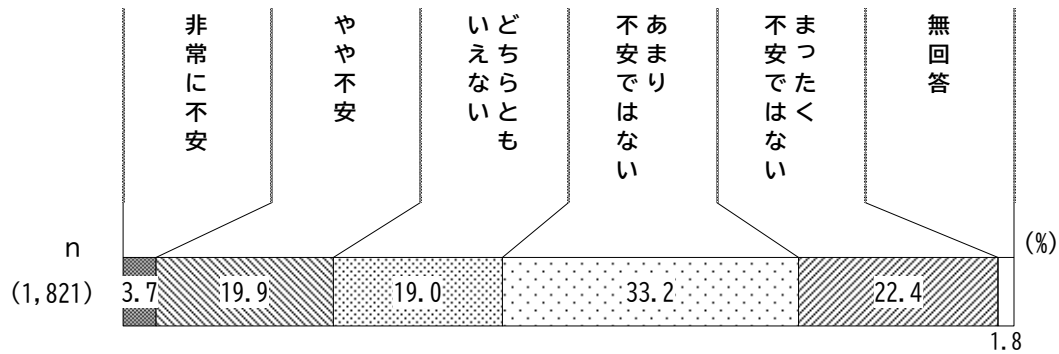
問31 あなたは、普段の生活で困ったとき、誰に相談していますか。(〇は3つまで)



孤独感／一般高齢者等

■「あまり不安ではない」が33.2%、「まったく不安ではない」が22.4%

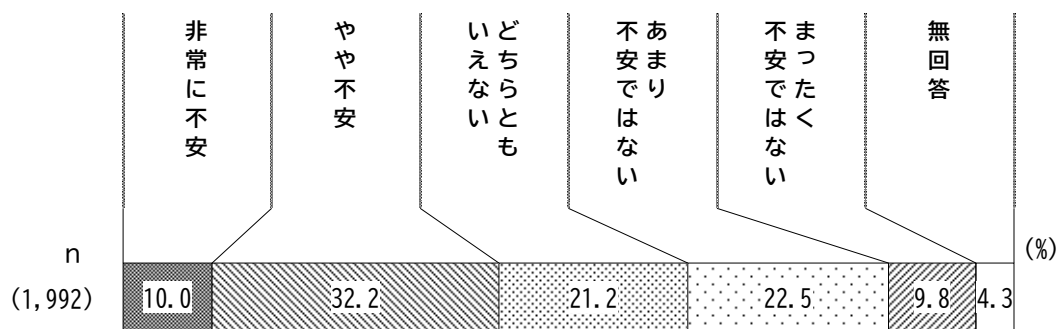
問16 孤独や孤立への不安を感じていますか。(○は1つ)



孤独感／要介護・要支援認定者

■『不安』(非常に不安+やや不安)が42.2%

問15 孤独や孤立への不安を感じていますか。(○は1つ)



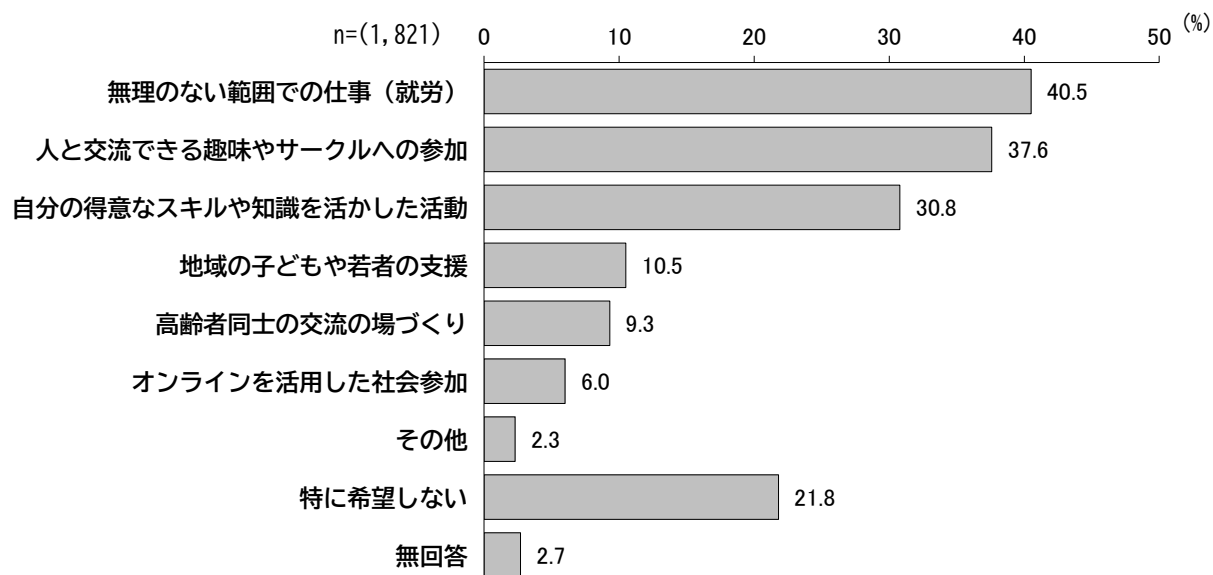
## II 調査結果

### ③今後の社会との関わり方（調査A問11）

#### 今後の社会との関わり方の希望

■「無理のない範囲での仕事（就労）」が40.5%、「人と交流できる趣味やサークルへの参加」が37.6%、「自分の得意なスキルや知識を活かした活動」が30.8%

問11 今後、どのような形で社会と関わっていきたいと思いますか（〇はいくつでも）



(3) 今後の生活に関する意向について（調査A、調査C）

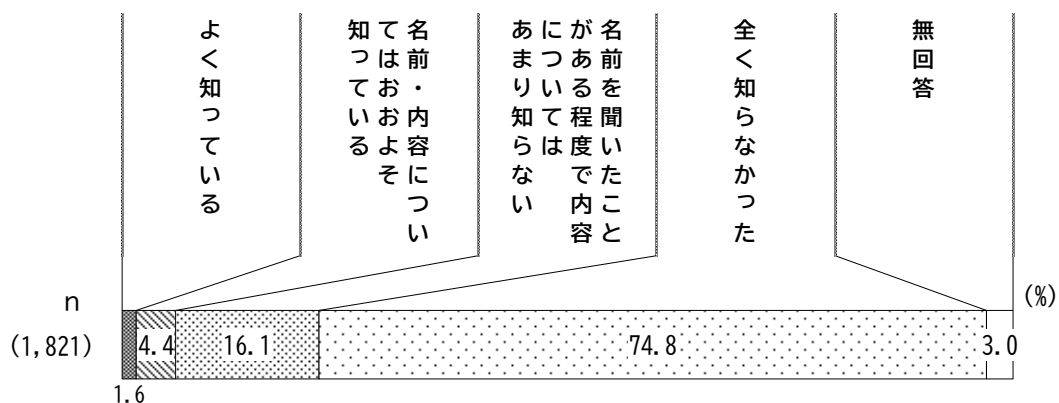
①ACP（アドバンス・ケア・プランニング）の理解度（調査A問33／調査C問29）

ACP（アドバンス・ケア・プランニング）の理解度／一般高齢者等

■「全く知らなかった」が74.8%

問33 あなたは、「ACP（アドバンス・ケア・プランニング）」※ についてどの程度ご存知ですか。（○は1つ）

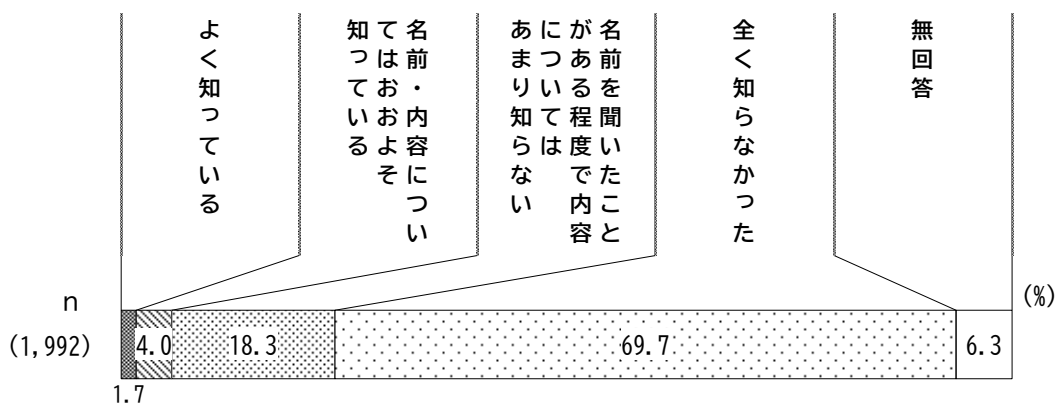
※ACP（アドバンス・ケア・プランニング）…人生の最終段階における医療や介護について、本人が家族等や医療・ケアチームと繰り返し話し合い共有すること。「人生会議」ともいう。



ACP（アドバンス・ケア・プランニング）の理解度／要介護・要支援認定者

■「全く知らなかった」が69.7%

問29 あなたは、「ACP（アドバンス・ケア・プランニング）」※ についてどの程度ご存知ですか。（○は1つ）



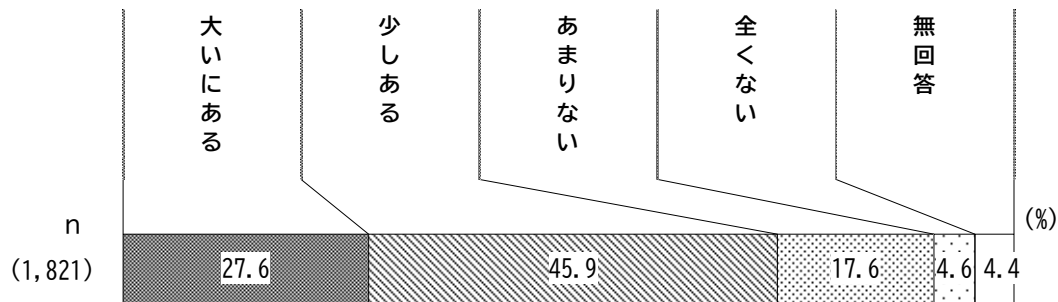
## II 調査結果

### ② 老い支度の興味と不安なこと（調査A問34、問35）

#### 終活への興味

■「少しある」が45.9%

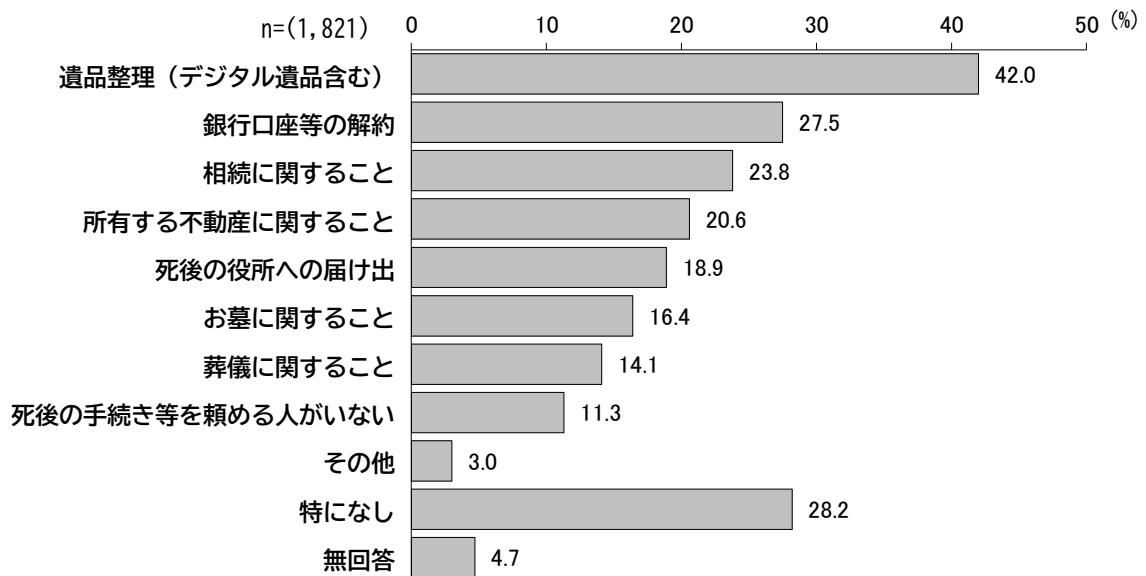
問34 終活に興味はありますか。（○は1つ）



#### 終末期・死後の手続き等で不安なこと

■「遺品整理（デジタル遺品含む）」が42.0%

問35 終末期および死後の手続き等で不安なことはありますか。（○はいくつでも）



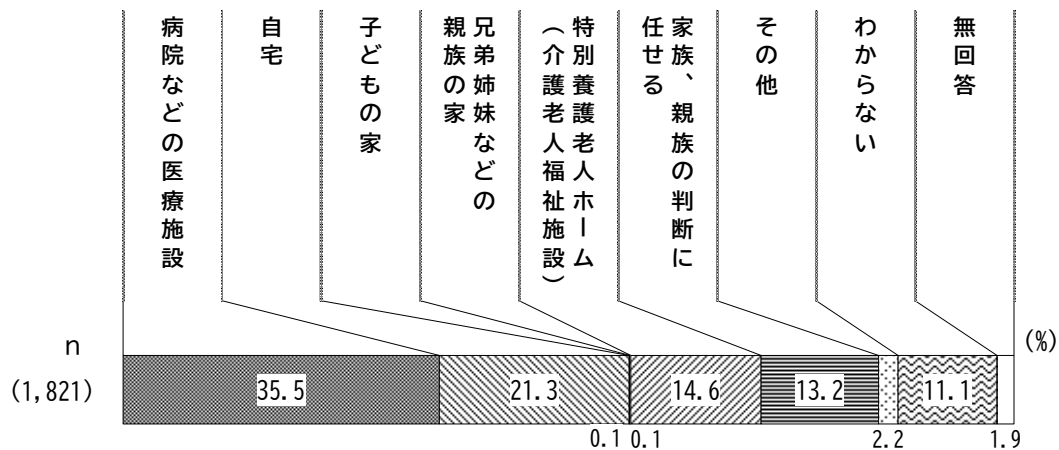
※デジタル遺品…亡くなった人が残したデジタル情報や電子的な資産の総称。具体的には、パソコンやスマートフォン内のデータ、SNSアカウント、電子メール、オンラインバンキングの情報、インターネット上で契約したサブスクリプションサービスなど、デジタル空間に存在する多様な資産が含まれる。

③終末期に介護を受けたい場所（調査A問30／調査C問26）

終末期に介護を受けたい場所／一般高齢者等

■「病院などの医療施設」が35.5%、「自宅」が21.3%

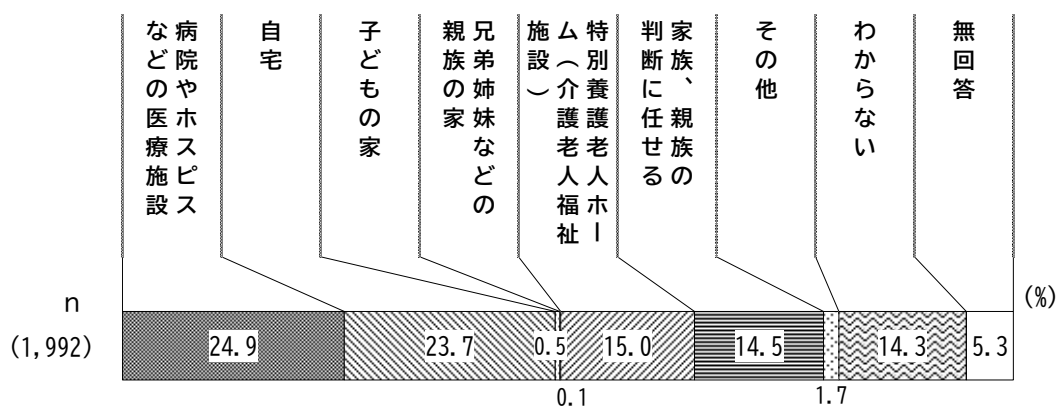
問30 あなたは、病気が治る可能性がなくなり、終末期になった場合、どこで介護を受けたいと思いますか。（○は1つ）



終末期に介護を受けたい場所／要介護・要支援認定者

■「病院やホスピスなどの医療施設」が24.9%、「自宅」が23.7%

問26 あなたは、病気が治る可能性がなくなり、終末期になった場合、どこで介護を受けたいと思いますか。（○は1つ）



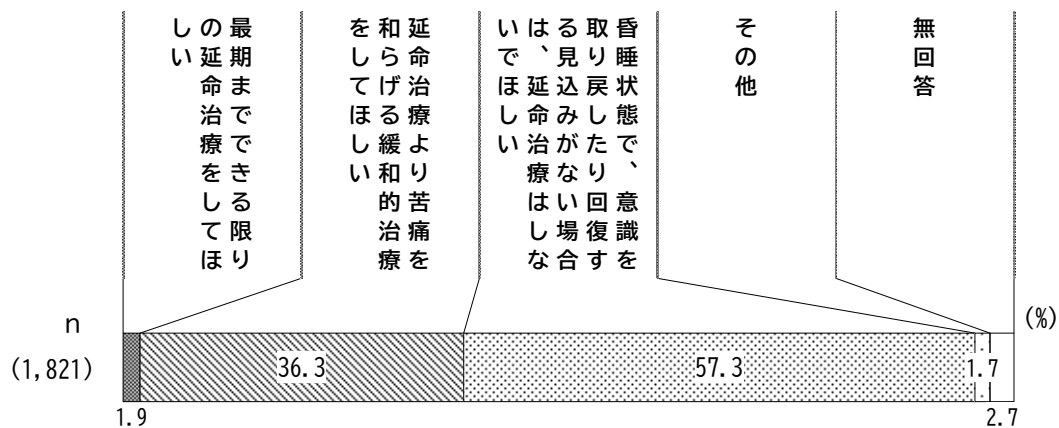
## II 調査結果

### ④延命治療についての考え（調査A問31／調査C問27）

#### 延命治療についての考え／一般高齢者等

■「昏睡状態で、意識を取り戻したり回復する見込みがない場合は、延命治療はしないでほしい」が57.3%

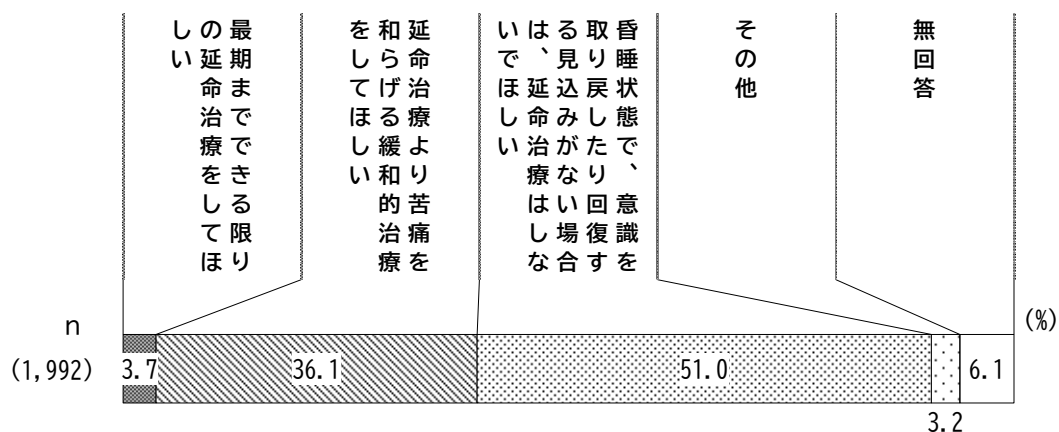
問31 あなたは、延命のための医療を受けることについてどう思いますか。（○は1つ）



#### 延命治療についての考え／要介護・要支援認定者

■「昏睡状態で、意識を取り戻したり回復する見込みがない場合は、延命治療はしないでほしい」が51.0%、「延命治療より苦痛を和らげる緩和的治療をしてほしい」が36.1%

問27 あなたは、延命のための医療を受けることについてどう思いますか。（○は1つ）



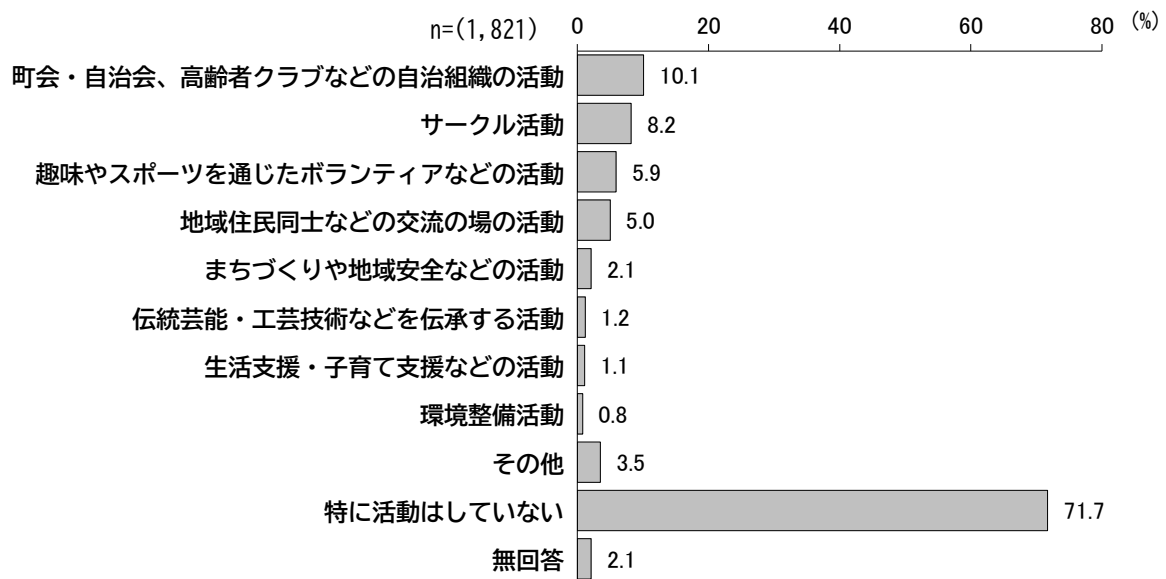
(4) 支え合い・たすけあいについて（調査A、調査B）

①社会的な活動や地域活動への参加状況（調査A問10、調査B問27、問28、問29）

社会的な活動や地域活動への参加状況

■「特に活動はしていない」が71.7%、「町会・自治会、高齢者クラブなどの自治組織の活動」が10.1%、「サークル活動」が8.2%

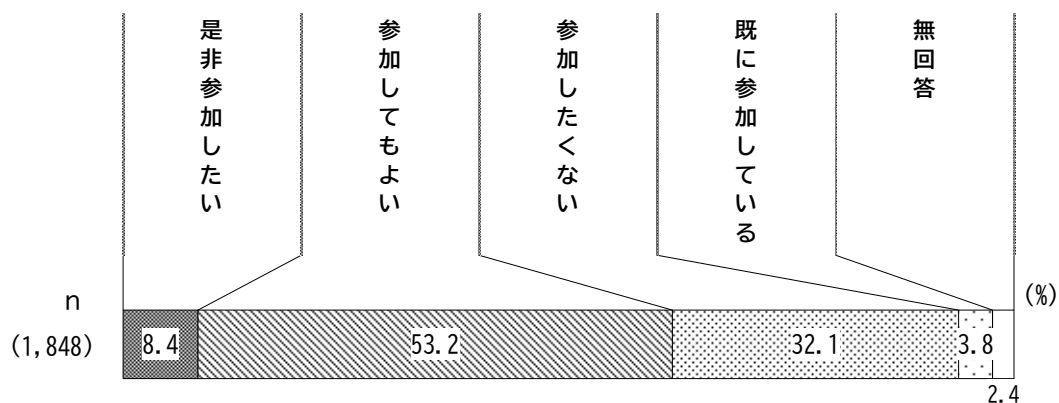
問10 あなたは現在、何らかの社会的活動や地域活動を行っていますか。（○はいくつでも）



地域づくりへの参加者としての参加意向

■「参加してもよい」が53.2%、「参加したくない」が32.1%

問27 地域住民の有志によって、健康づくり活動や趣味等のグループ活動を行って、いきいきした地域づくりを進めるとしたら、あなたはその活動に参加者として参加してみたいと思いますか。（○は1つ）

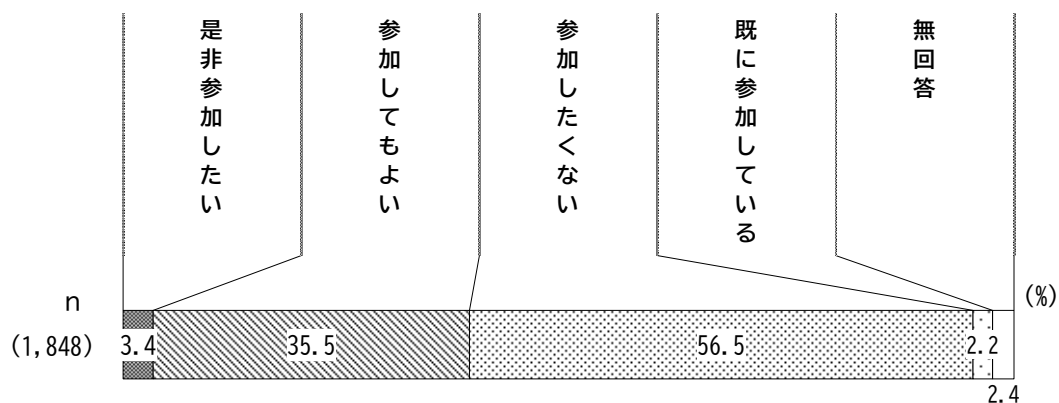


## II 調査結果

### 地域づくりへの企画・運営者としての参加意向

■「参加したくない」が56.5%、「参加してもよい」が35.5%

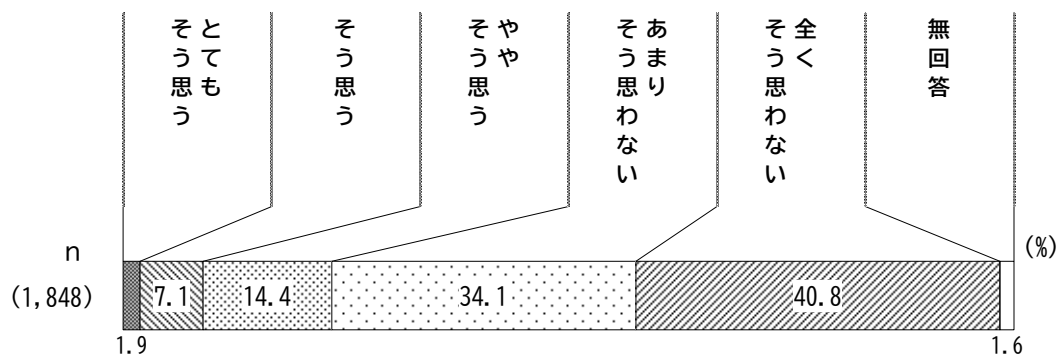
問28 地域住民の有志によって、健康づくり活動や趣味等のグループ活動を行って、いきいきした地域づくりを進めるとしたら、あなたはその活動に企画・運営（お世話役）として参加してみたいと思いますか。（○は1つ）



### 地域の人からの期待や頼り

■「全くそう思わない」が40.8%、「あまりそう思わない」が34.1%

問29 あなたは地域の人等から何らかの役割を期待されたり頼りにされていると思いますか。（○は1つ）



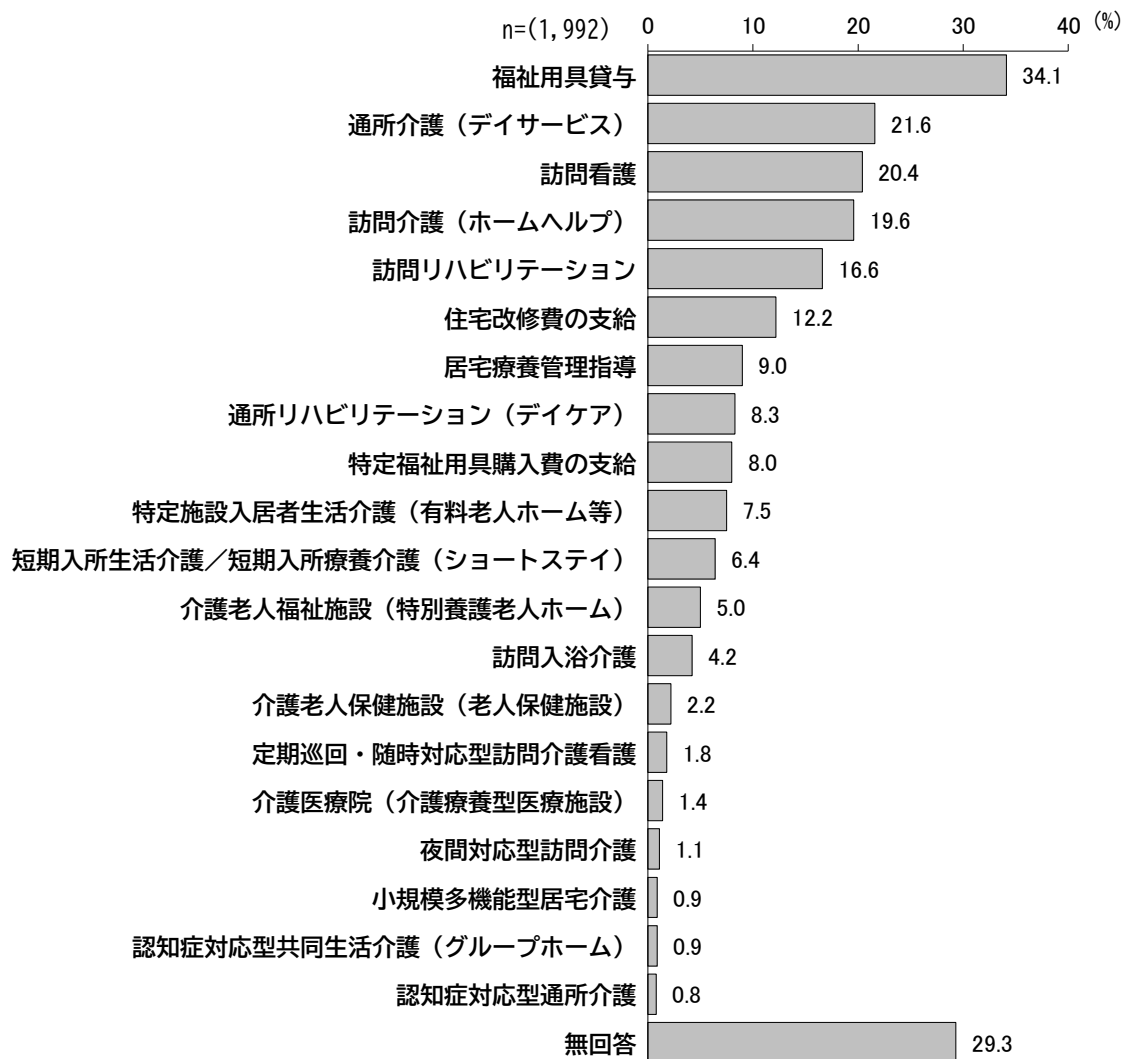
(5) 介護サービスの利用状況について（調査C）

①現在利用している介護保険サービス（調査C問16）

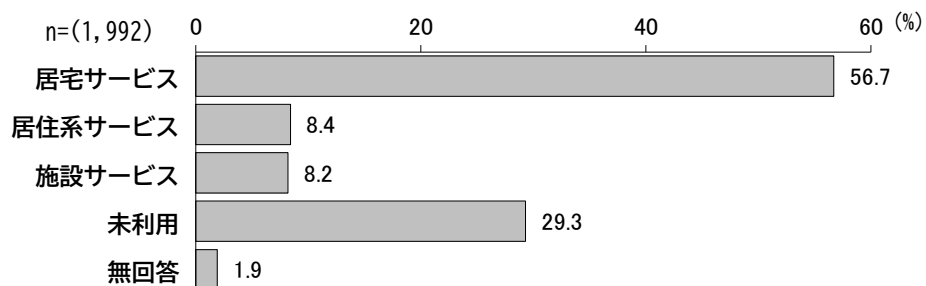
現在利用している介護保険サービス

■利用サービスは「福祉用具貸与」が34.1%

問16 現在、あなたが利用している介護保険サービス（介護予防サービスを含む。）は何ですか。（利用しているサービスすべてに○）



〈事業種別〉



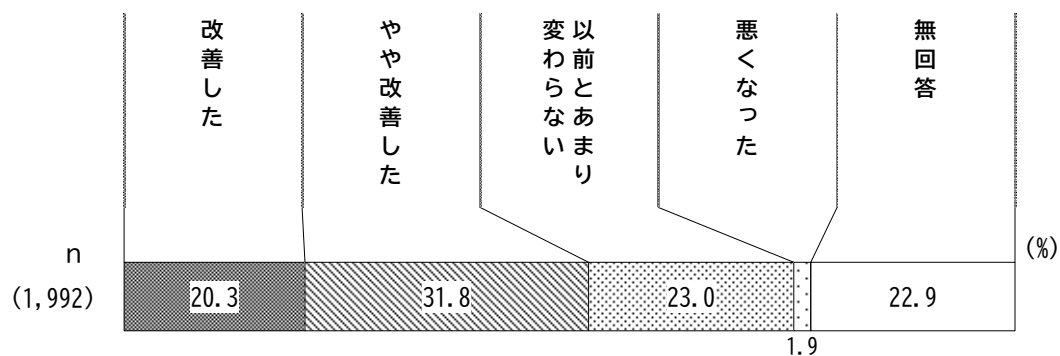
## II 調査結果

### ②介護保険サービスを利用してからの生活環境や身体状況の変化（調査C問18）

#### 介護保険サービスを利用してからの生活環境や身体状況の変化

#### ■「やや改善した」が31.8%

問18 介護保険サービスを利用するようになってから、あなたの生活環境や身体状況はどのようになりましたか。（○は1つ）

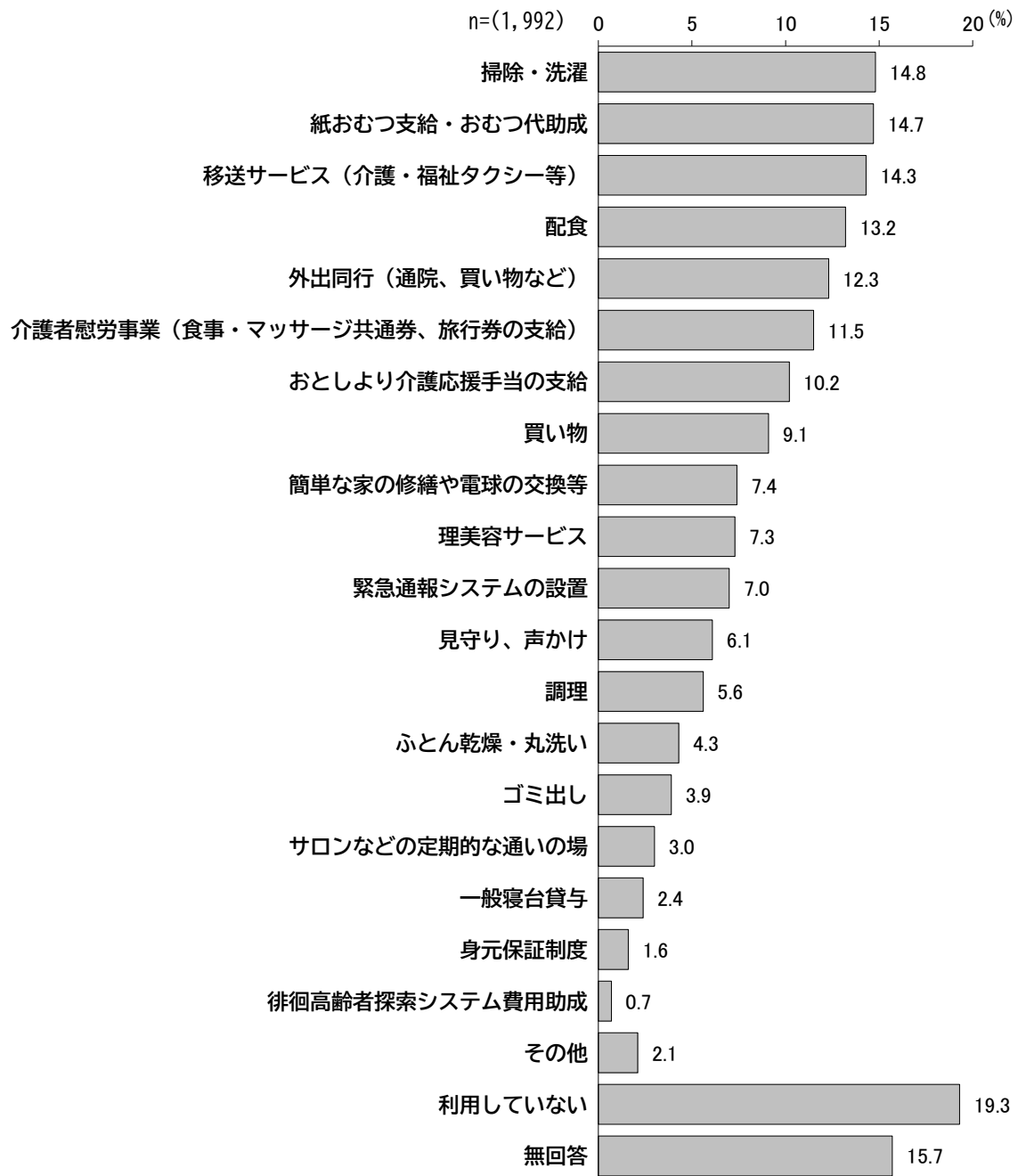


③在宅生活の継続に必要と感じる支援・サービス（調査C問21）

在宅生活の継続に必要と感じる支援・サービス

■「掃除・洗濯」が14.8%、「紙おむつ支給・おむつ代助成」が14.7%、「移送サービス（介護・福祉タクシー等）」が14.3%、さらに「配食」などの4項目が1割超

問21 あなたが、今後の在宅生活の継続に必要と感じる支援・サービス（現在利用しているが、さらなる充実が必要と感じる支援・サービスを含む）は何ですか。（〇は3つまで）



## II 調査結果

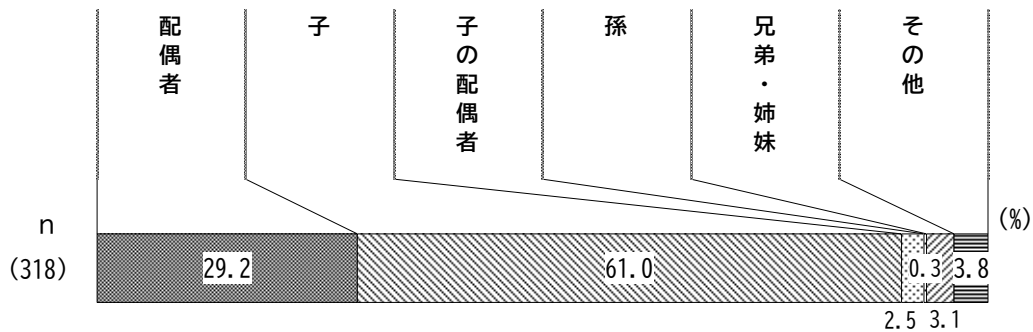
### (6) 家族介護者等への支援について（調査C、調査D）

#### ①主な介護者（調査D・A票問3）

##### 主な介護者

■「子」が61.0%

問3 主な介護者の方は、どなたですか。（○は1つ）

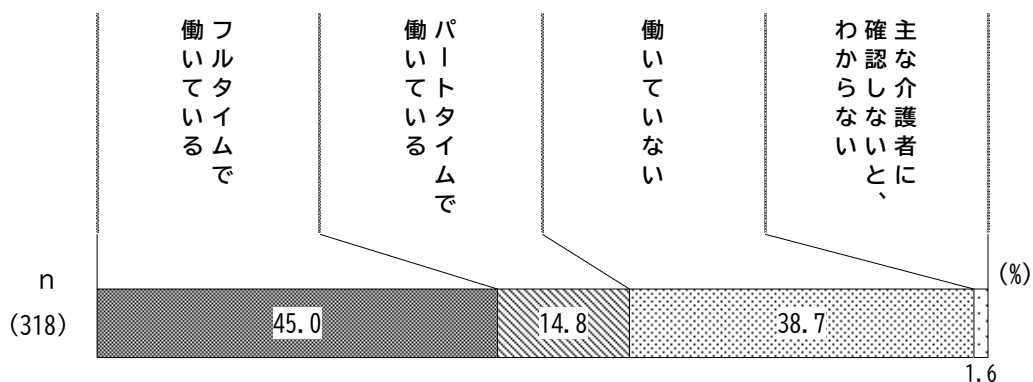


#### ②主な介護者の勤務形態（調査D・B票問1）

##### 主な介護者の勤務形態

■「フルタイムで働いている」が45.0%、「働いていない」が38.7%

問1 主な介護者の方の現在の勤務形態について、ご回答ください。（○は1つ）

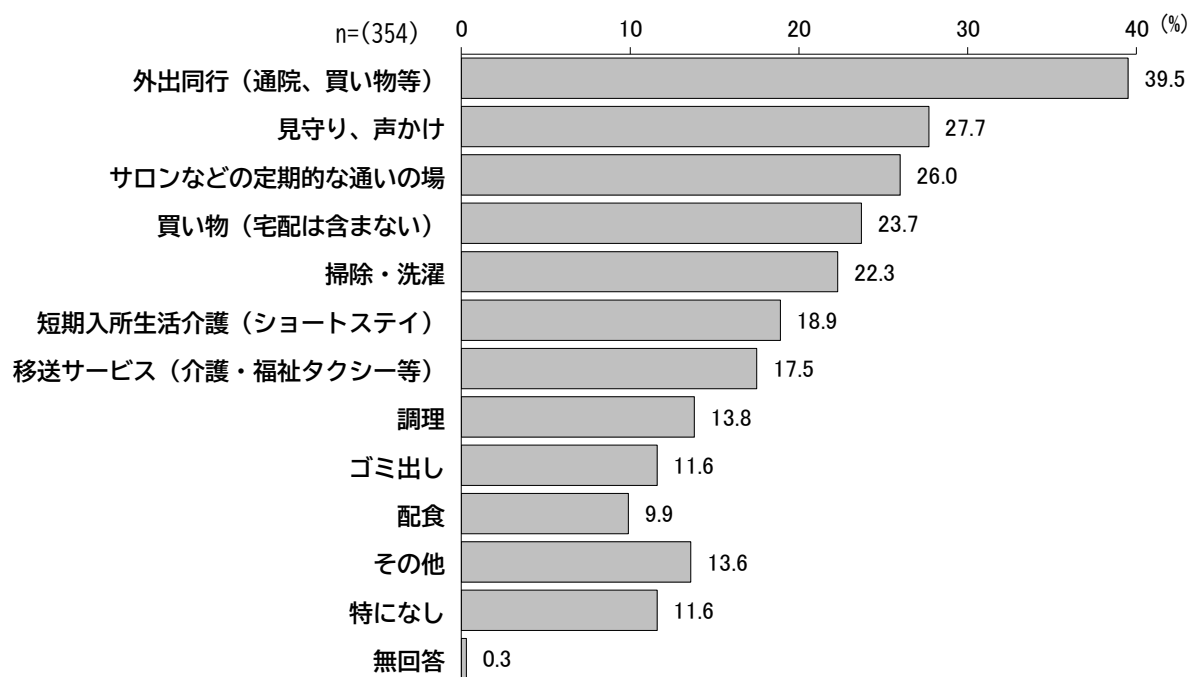


③今後の在宅生活の継続に必要な支援・サービス（調査D・A票問8）

■「外出同行（通院、買い物等）」が39.5%、「見守り、声かけ」が27.7%、「サロンなどの定期的な通いの場」が26.0%、「買い物（宅配は含まない）」が23.7%、「掃除・洗濯」が22.3%

問8 今後の在宅生活の継続に必要なと感じる支援・サービス（現在利用しているが、さらなる充実が必要と感じる支援・サービスを含む）について、ご回答ください。（〇はいくつでも）

※介護保険サービス、介護保険以外の支援・サービスともに含みます。

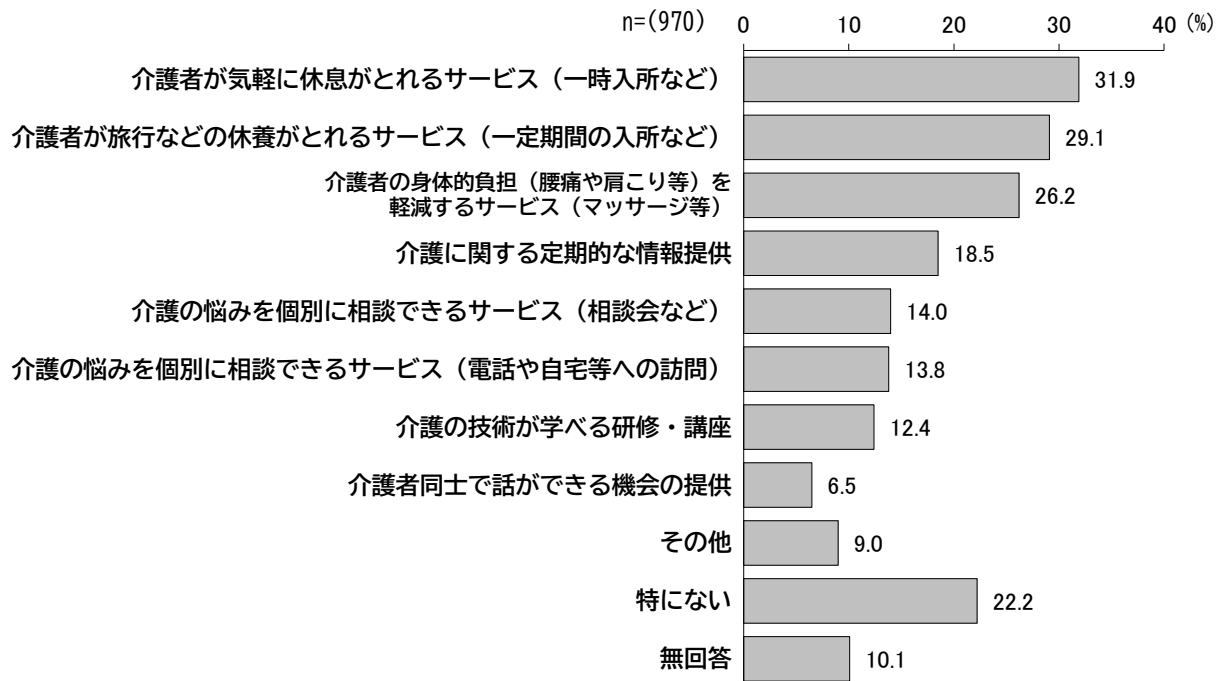


## II 調査結果

### ④介護者自身が受けたい支援（調査C問9）

■「介護者が気軽に休息がとれるサービス（一時入所など）」が31.9%、「介護者が旅行などの休養がとれるサービス（一定期間の入所など）」が29.1%、「介護者の身体的負担（腰痛や肩こり等）を軽減するサービス（マッサージ等）」が26.2%

問9 注) この質問は介護をしている方がお答えください。介護者ご自身が受けたい支援はありますか。(〇はいくつでも)



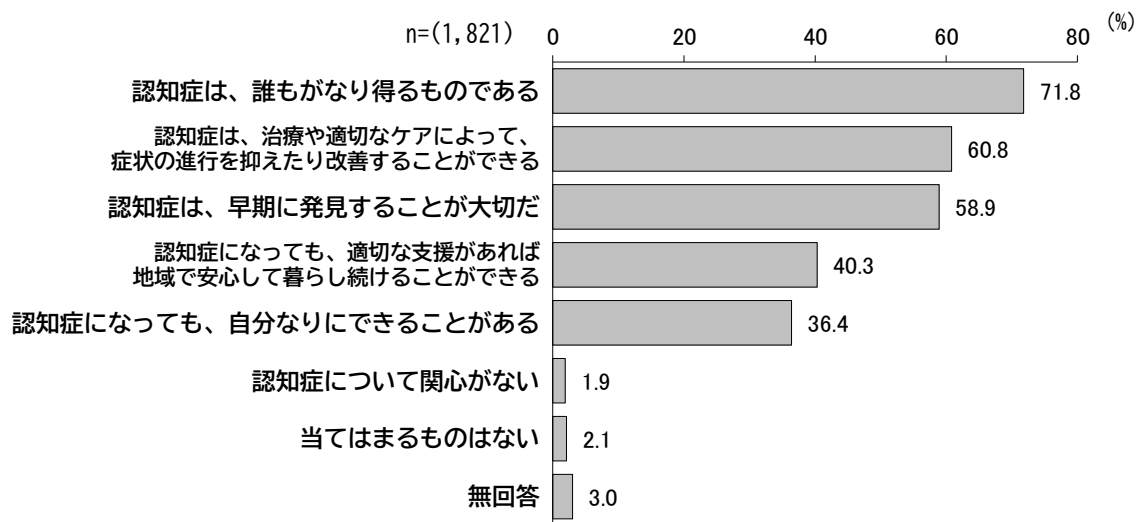
(7) 認知症や権利擁護について（調査A、調査B、調査C）

①認知症についての考えや欲しい情報（調査A問36／調査B問43／調査C問39、調査A問37／調査B問44／調査C問40、調査C問41）

認知症についての考え／一般高齢者等

■「認知症は、誰もがなり得るものである」が71.8%、「認知症は、治療や適切なケアによって、症状の進行を抑えたり改善することができる」が60.8%、「認知症は、早期に発見することが大切だ」が58.9%

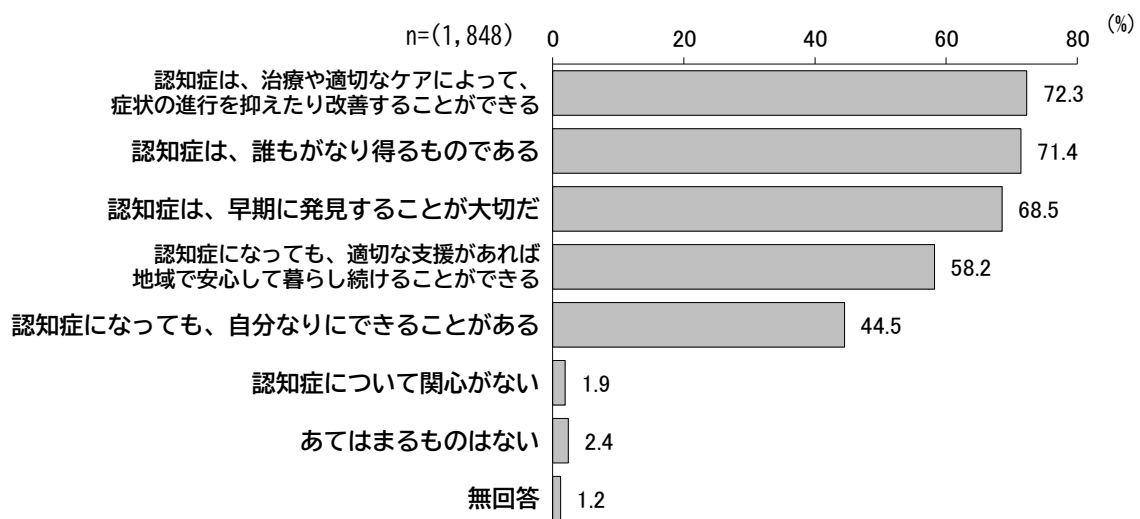
問36 あなたは認知症について、どのように考えていますか。（○はいくつでも）



認知症についての考え／一般高齢者、総合事業対象者および要支援認定者

■「認知症は、治療や適切なケアによって、症状の進行を抑えたり改善することができる」が72.3%、「認知症は、誰もがなり得るものである」が71.4%、「認知症は、早期に発見することが大切だ」が68.5%

問43 あなたは認知症について、どのように考えていますか。（○はいくつでも）

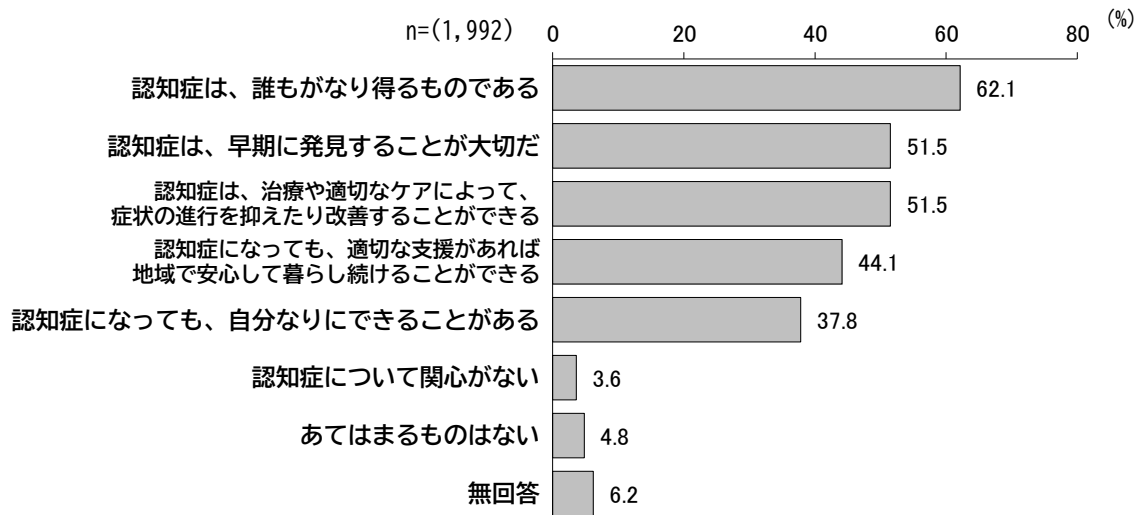


## II 調査結果

### 認知症についての考え／要介護・要支援認定者

- 「認知症は、誰もがなり得るものである」が62.1%、「認知症は、早期に発見することが大切だ」「認知症は、治療や適切なケアによって、症状の進行を抑えたり改善することができる」がともに51.5%

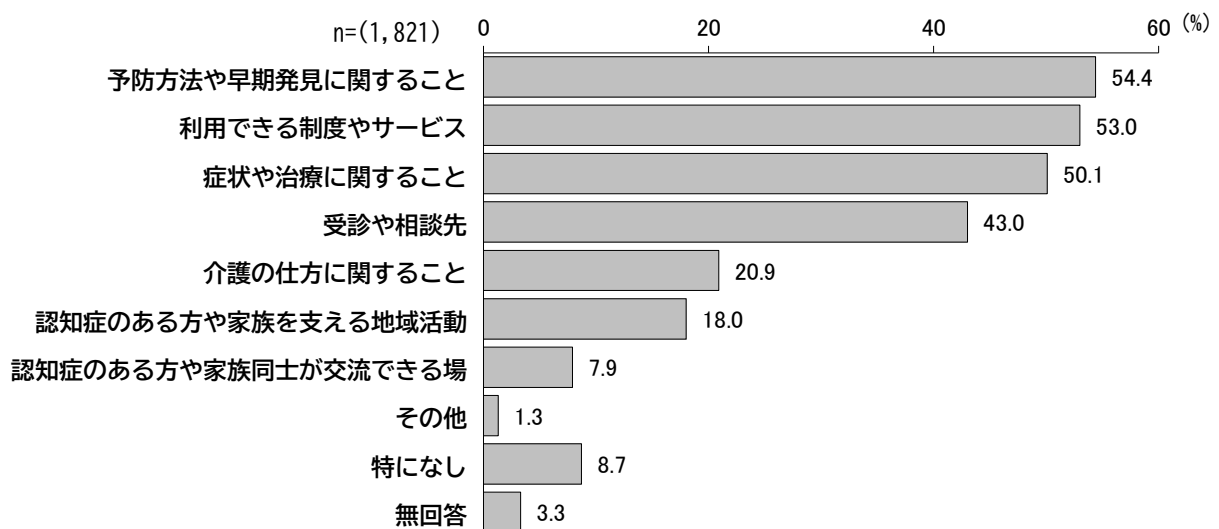
問39 あなたは認知症について、どのように考えていますか。(○はいくつでも)



### 認知症に関する欲しい情報／一般高齢者等

- 「予防方法や早期発見に関すること」が54.4%、「利用できる制度やサービス」が53.0%、「症状や治療に関すること」が50.1%

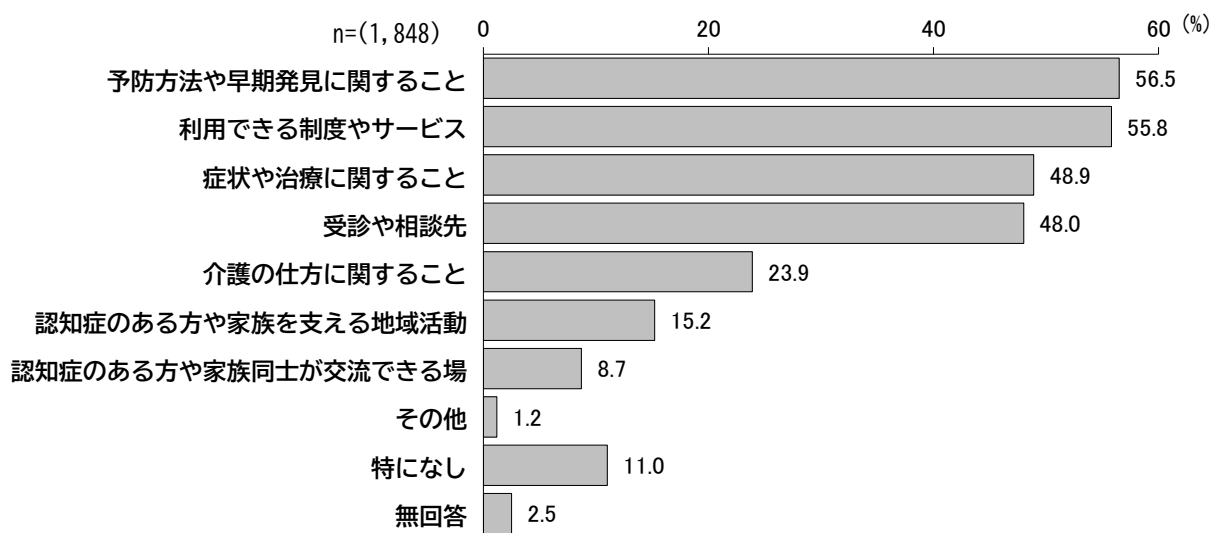
問37 あなたが認知症に関する情報でもっと欲しいと思う内容は何ですか。(○はいくつでも)



認知症に関する欲しい情報／一般高齢者、総合事業対象者および要支援認定者

■「予防方法や早期発見に関すること」が56.5%、「利用できる制度やサービス」が55.8%

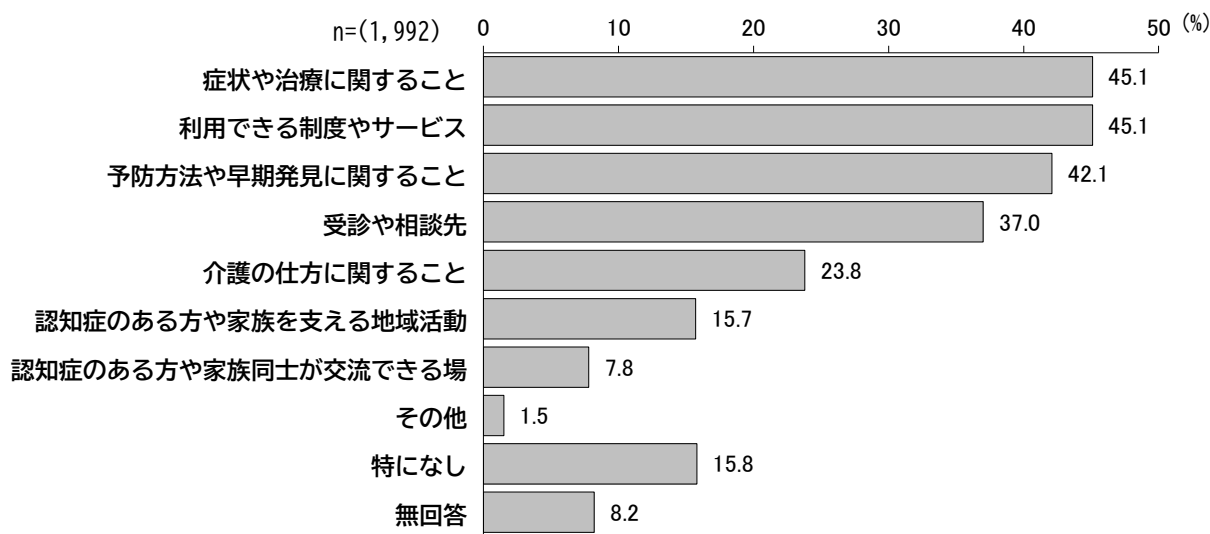
問44 あなたが認知症に関する情報でもっと欲しいと思う内容は何ですか。(〇はいくつでも)



認知症に関する欲しい情報／要介護・要支援認定者

■「症状や治療に関すること」「利用できる制度やサービス」がともに45.1%、「予防方法や早期発見に関すること」が42.1%

問40 あなたが認知症に関する情報でもっと欲しいと思う内容は何ですか。(〇はいくつでも)



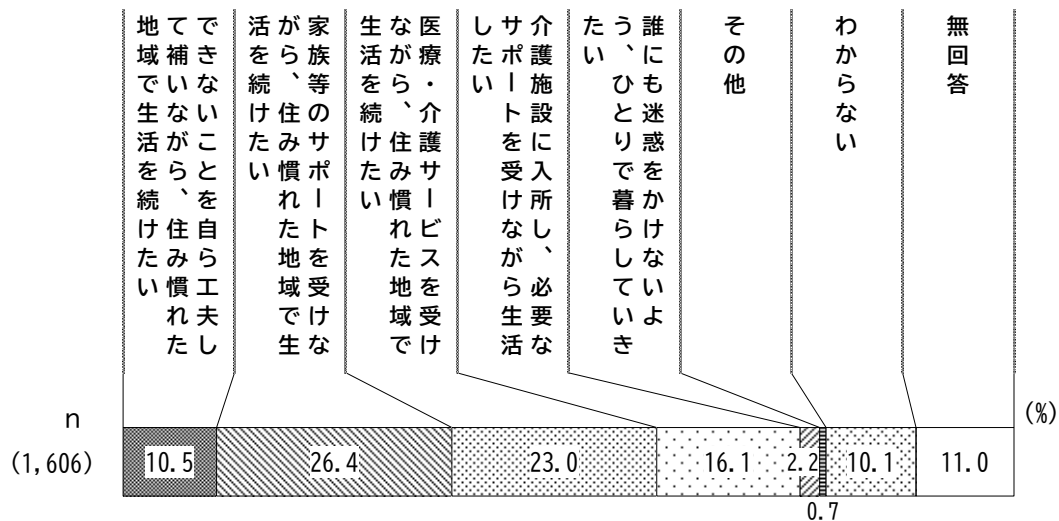
## II 調査結果

### 認知症になったときの暮らし方の希望

■「家族等のサポートを受けながら、住み慣れた地域で生活が続けたい」が26.4%、「医療・介護サービスを受けながら、住み慣れた地域で生活が続けたい」が23.0%、「介護施設に入所し、必要なサポートを受けながら生活したい」が16.1%

【問41はご自宅にお住まいの方のみお答えください】

問41 あなたが認知症になったとき、どのように暮らしたいと思いますか。(○は1つ)

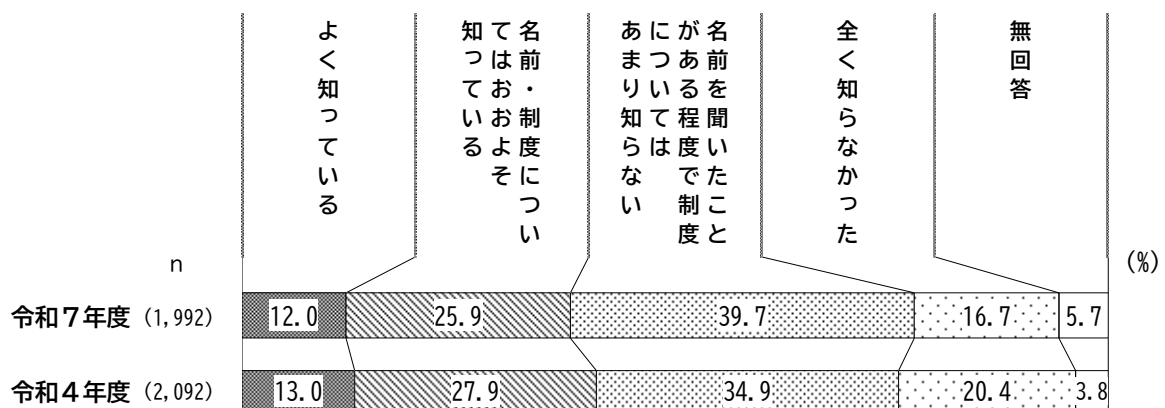


②成年後見制度・権利擁護支援事業・法人後見人制度の認知度（調査C問33、問35、問37）

成年後見制度の認知度

■「名前を聞いたことがある程度で制度についてはあまり知らない」が39.7%、「名前・制度についてはおおそ知っている」が25.9%

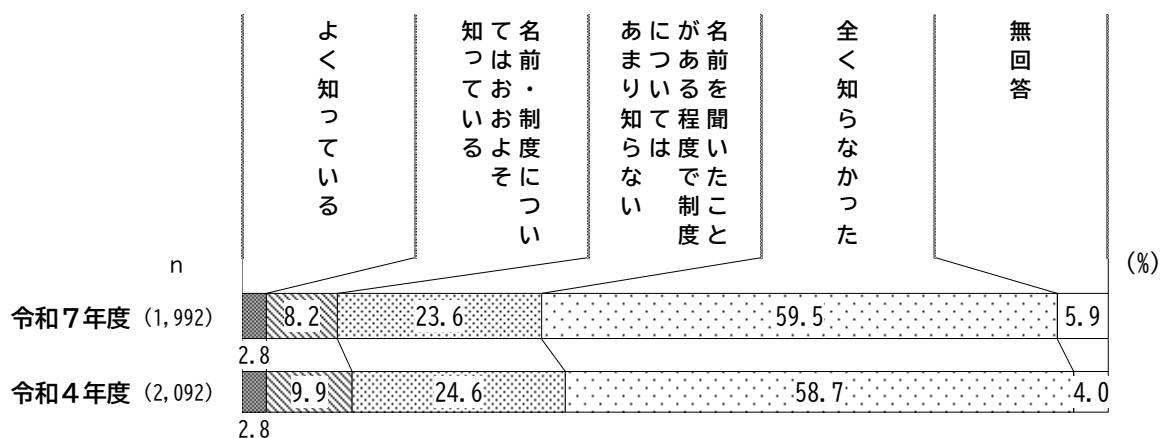
問33 あなたは、「成年後見制度」※ について内容をどの程度ご存知ですか。（○は1つ）  
 ※成年後見制度…本人が、障害や認知症などで判断能力に欠ける場合、本人に代わって家庭裁判所が決める法定後見人が財産管理や介護サービス契約などを行うことができる制度です。



権利擁護支援事業の認知度

■「全く知らなかった」が59.5%

問35 「権利擁護支援事業」※ について内容をどの程度知っていますか。（○は1つ）  
 ※権利擁護支援事業…判断能力に不安がある方に対して、日常的な金銭の出し入れや通帳などの保管、福祉サービスの利用援助などを行うことができる制度です。



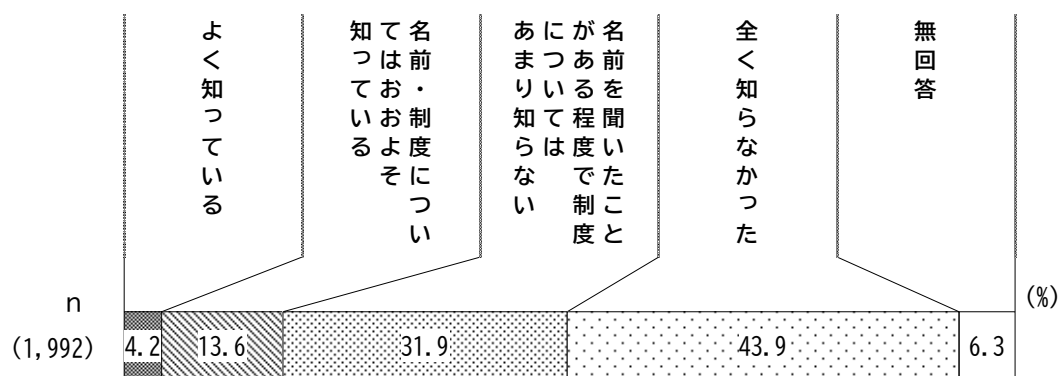
## II 調査結果

### 法人後見人制度の認知度

■「全く知らなかった」が43.9%で、「名前を聞いたことがある程度で制度についてはあまり知らない」が31.9%

問37 「法人後見人制度」※を知っていますか（○は1つ）

※法人後見人制度…社会福祉法人やNPO法人などの法人が、判断能力が不十分な人の成年後見人等として、保護・支援を行う制度です。



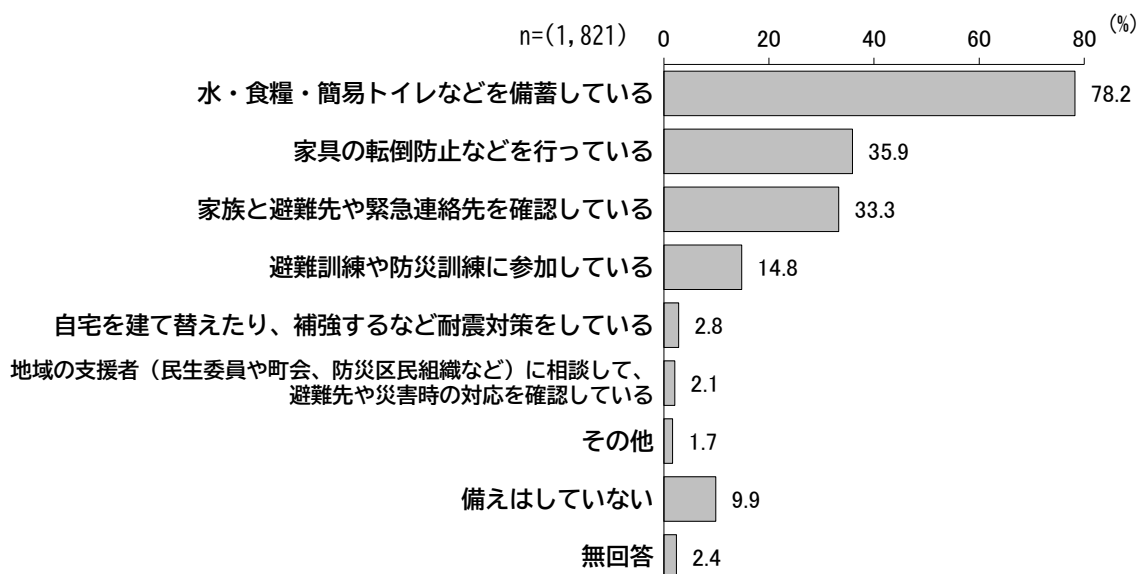
### (8) 災害時の対応について（調査A、調査C）

①災害時に備えてしていること（調査A問27／調査C問44、調査A問26／調査C問43）

#### 災害への備え／一般高齢者等

■「水・食糧・簡易トイレなどを備蓄している」が78.2%

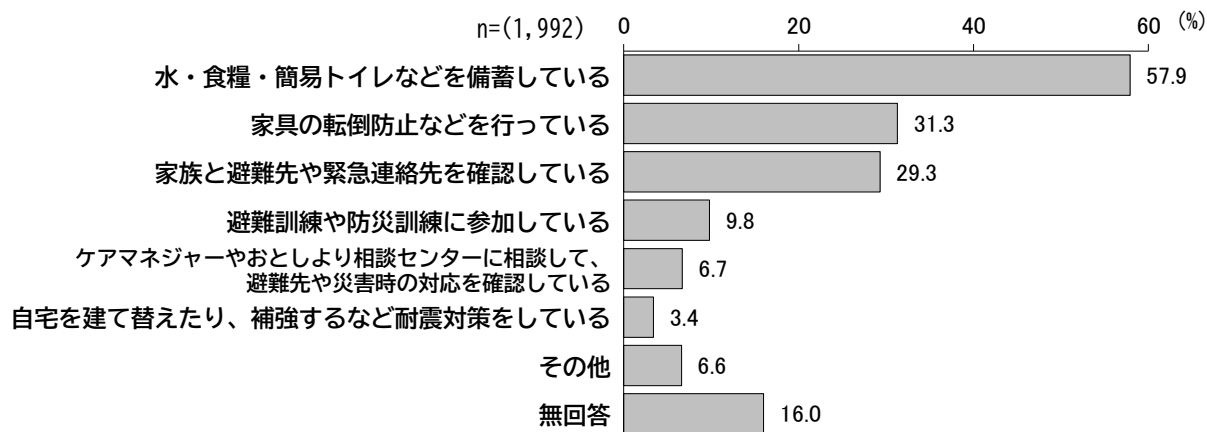
問27 あなたは、地震などの災害に備えてどのようなことをしていますか。（○はいくつでも）



災害への備え／要介護・要支援認定者

■「水・食糧・簡易トイレなどを備蓄している」が57.9%

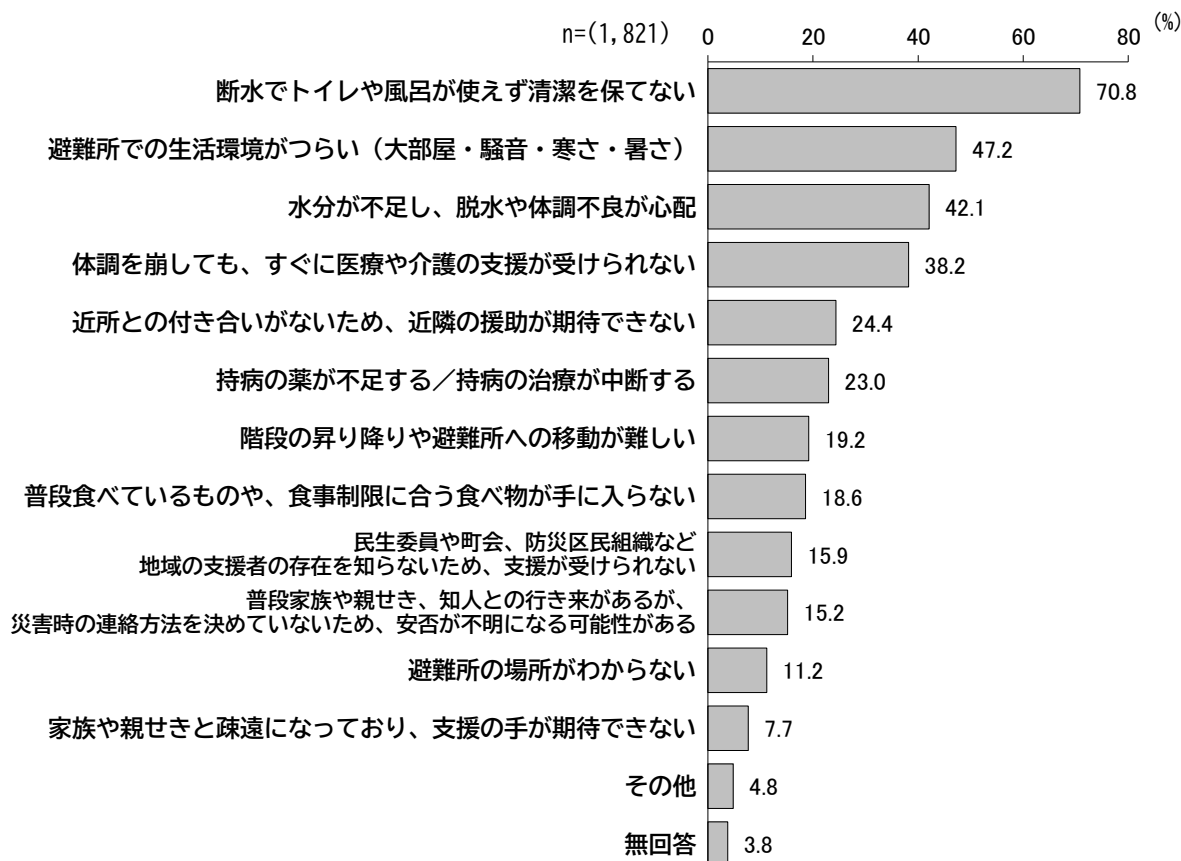
問44 あなたは、地震などの災害に備えてどのようなことをしていますか。(〇はいくつでも)



災害時に困ること／一般高齢者等

■「断水でトイレや風呂が使えず清潔を保てない」が70.8%、「避難所での生活環境がづらい(大部屋・騒音・寒さ・暑さ)」が47.2%、「水分が不足し、脱水や体調不良が心配」が42.1%

問26 あなたは、地震などの災害が起こった場合にどのようなことで困ると想定していますか。(〇はいくつでも)

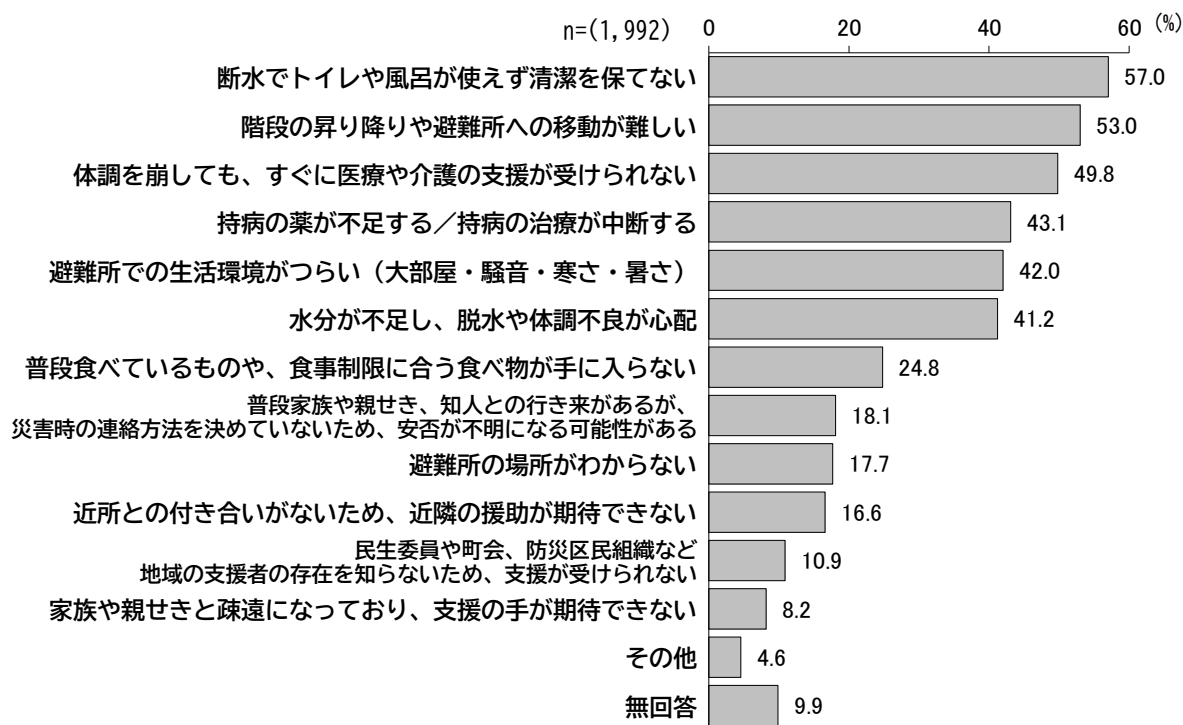


## II 調査結果

### 災害時に困ること／要介護・要支援認定者

■「断水でトイレや風呂が使えず清潔を保てない」が57.0%で、「階段の昇り降りや避難所への移動が難しい」が53.0%、「体調を崩しても、すぐに医療や介護の支援が受けられない」が49.8%

問43 あなたは、地震などの災害が起こった場合にどのようなことで困ると想定していますか。(〇はいくつでも)



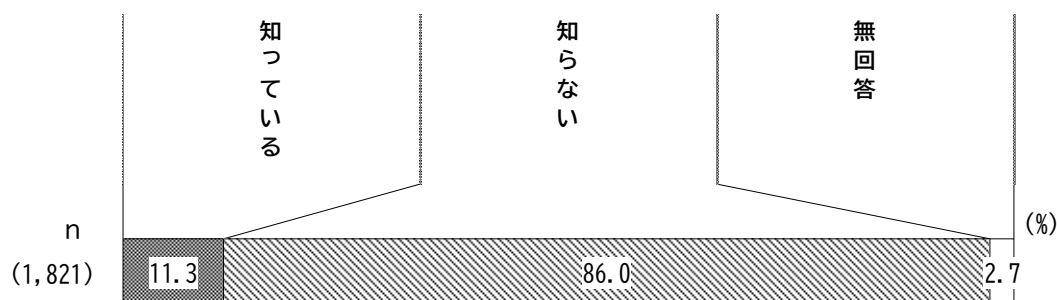
### ②「中央区災害時地域たすけあい名簿」の認知度(調査A問28／調査C問45)

#### 「中央区災害時地域たすけあい名簿」の認知度／一般高齢者等

■「知らない」が86.0%

問28 あなたは、「中央区災害時地域たすけあい名簿」※についてご存知ですか。(〇は1つ)

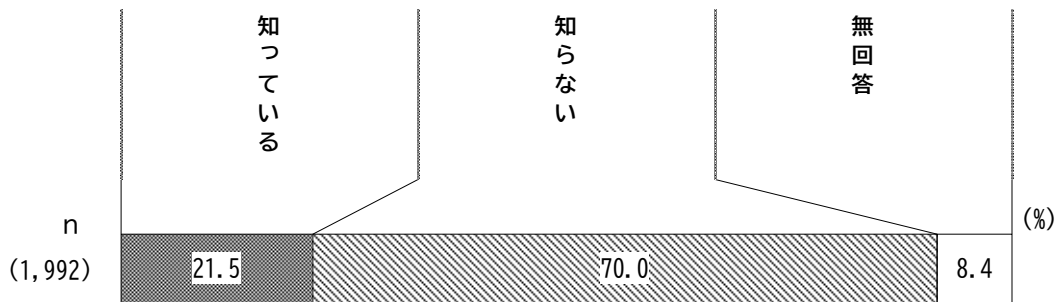
※中央区災害時地域たすけあい名簿…災害時に自力で避難したり生活することが困難で特に支援を必要とする方(75歳以上でひとり暮らしの方、要介護3～5の方、障害者手帳をお持ちの方など)を登録した名簿です。災害に備えるため、本人の同意がある方の名簿情報を避難支援等関係者にあらかじめ提供し、災害時に地域全体で助け合うことを目的としています。



「中央区災害時地域たすけあい名簿」の認知度／要介護・要支援認定者

■「知らない」が70.0%

問45 あなたは、「中央区災害時地域たすけあい名簿」※ についてご存知ですか。(○は1つ)



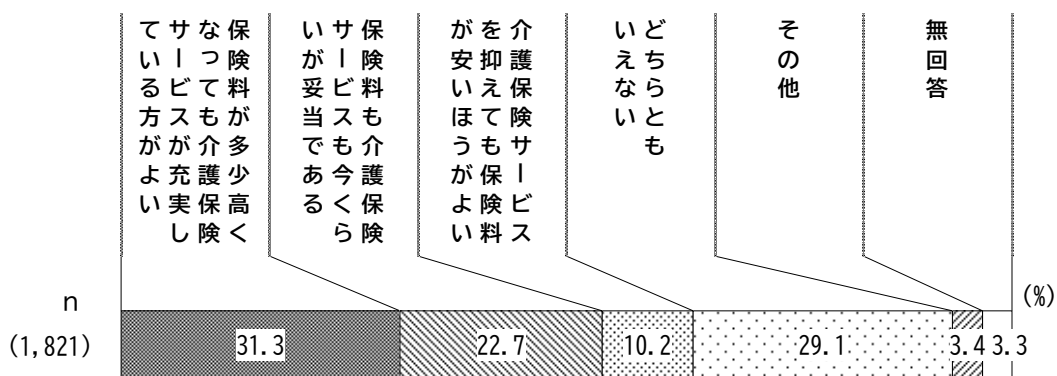
(9) 今後の高齢者保健福祉施策について (調査A、調査C)

①介護保険サービスと介護保険料のあり方 (調査A問38／調査C問46)

介護保険サービスと介護保険料のあり方／一般高齢者等

■「保険料が多少高くなっても介護保険サービスが充実している方がよい」が31.3%、「どちらともいえない」が29.1%

問38 今後、高齢者が増加していくにつれて介護保険料が高くなることが想定されますが、あなたは、今後の介護保険料のあり方についてどう思いますか。(○は1つ)

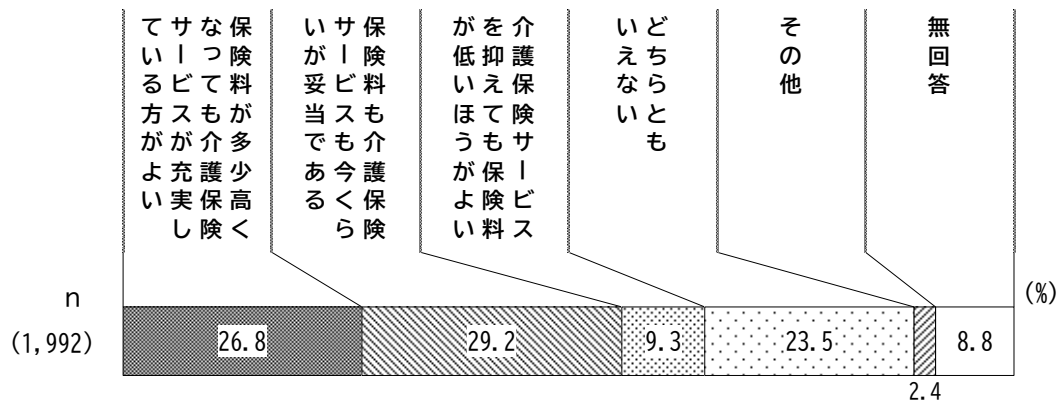


## II 調査結果

### 介護保険サービスと介護保険料のあり方／要介護・要支援認定者

■「保険料も介護保険サービスも今くらいが妥当である」が29.2%、「保険料が多少高くなっても介護保険サービスが充実している方がよい」が26.8%、「どちらともいえない」が23.5%

問46 今後、高齢者が増加していくにつれて介護保険料が高くなることが想定されますがあなたは、今後の介護保険料のあり方についてどう思いますか。(○は1つ)

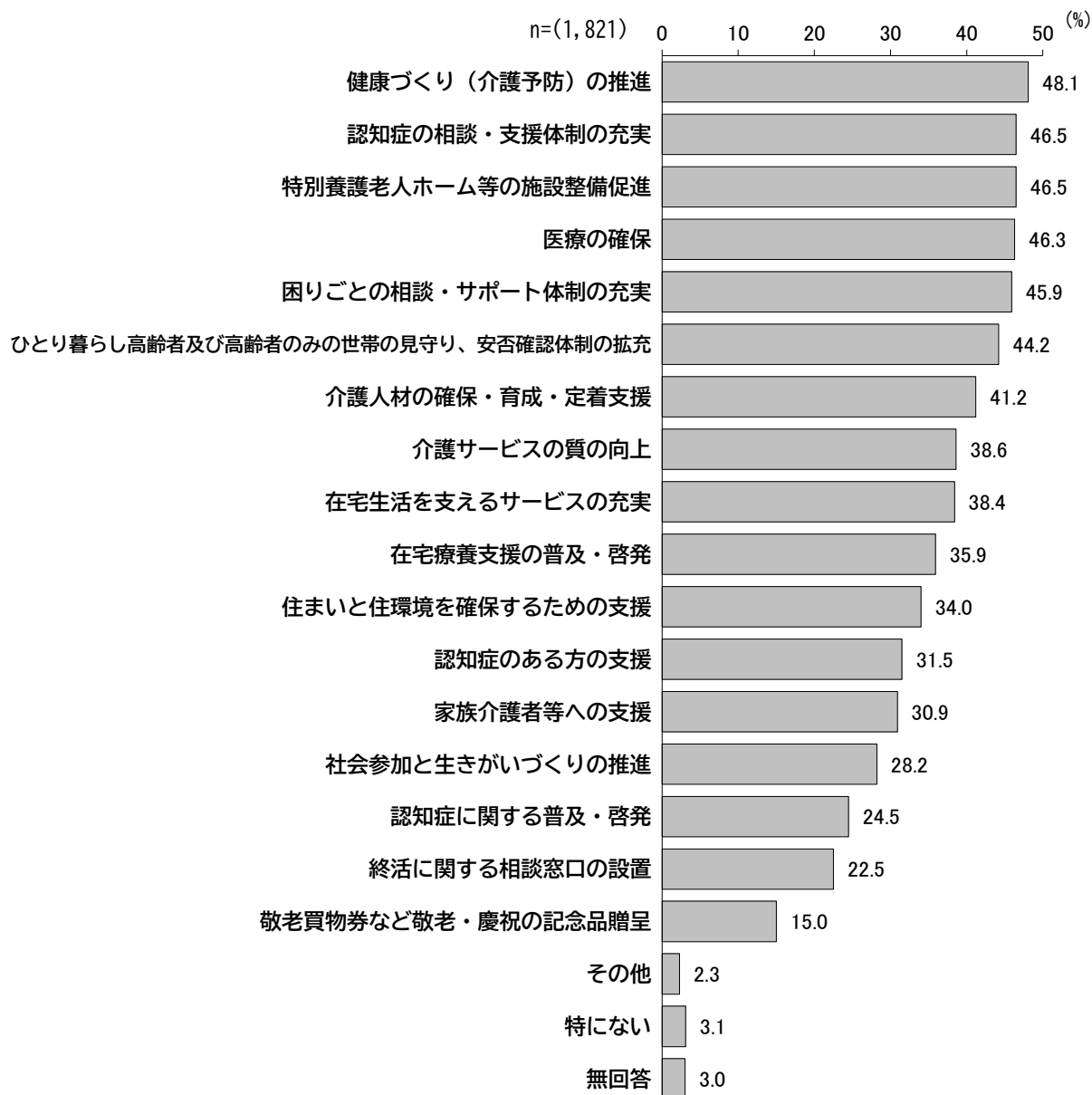


②今後力を入れるべき高齢者保健福祉施策（調査A問39／調査C問47）

今後力を入れるべき高齢者保健福祉施策／一般高齢者等

■「健康づくり（介護予防）の推進」が48.1%、「認知症の相談・支援体制の充実」「特別養護老人ホーム等の施設整備促進」がともに46.5%など、計7項目が4割台

問39 住み慣れた地域で暮らし続けるために、これからの高齢者保健福祉施策で中央区が力を入れていくべきものは何だと思いませんか。（〇はいくつでも）

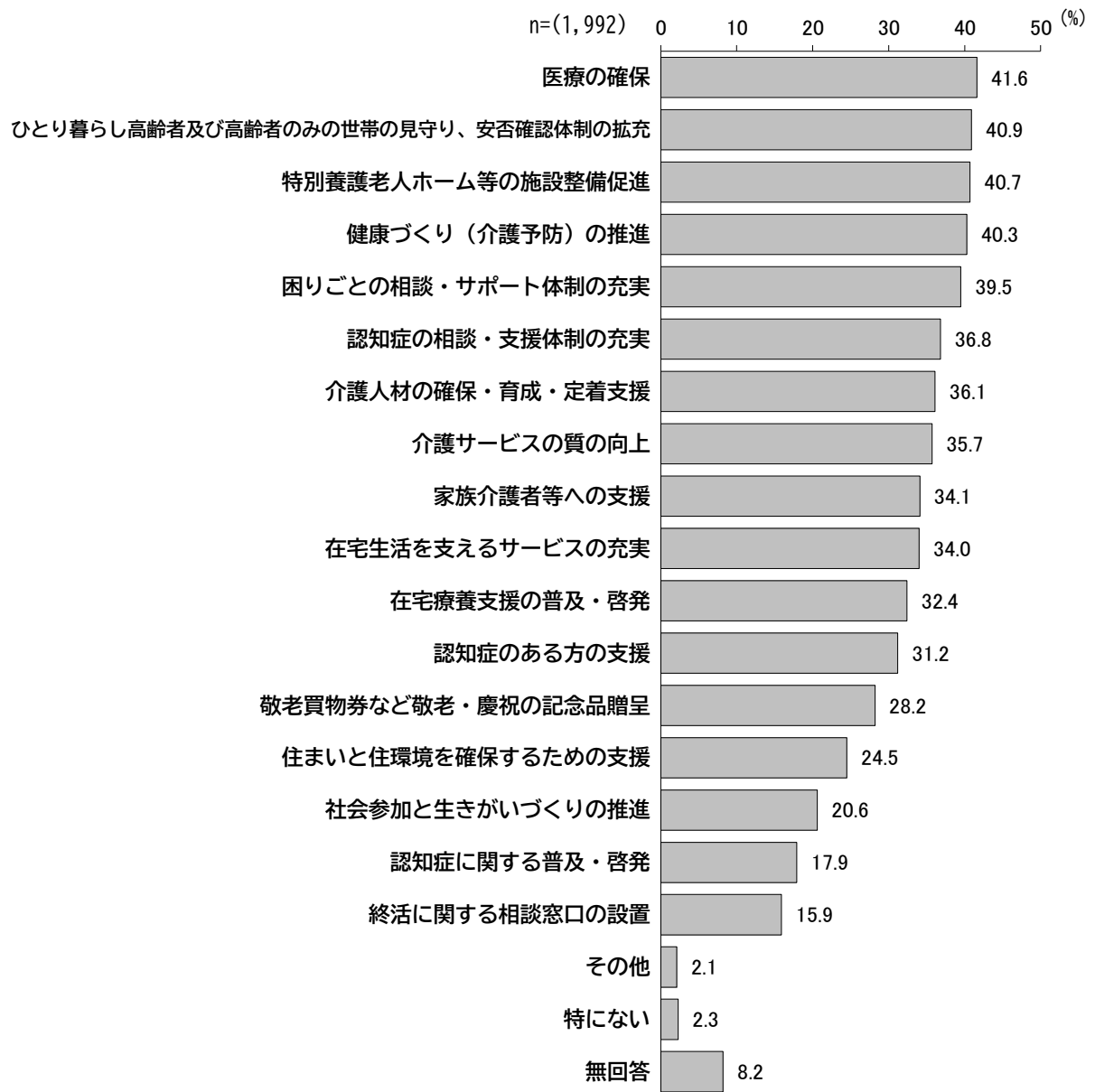


## II 調査結果

今後力を入れるべき高齢者保健福祉施策／要介護・要支援認定者

■「医療の確保」「ひとり暮らし高齢者及び高齢者のみの世帯の見守り、安否確認体制の拡充」「特別養護老人ホーム等の施設整備促進」「健康づくり（介護予防）の推進」が4割超、さらに8項目が3割台と多岐にわたる

問47 住み慣れた地域で暮らし続けるために、これからの高齢者保健福祉施策で中央区が力を入れていくべきものは何だと思えますか。（○はいくつでも）



## 2. 事業所・医療機関向け調査の結果

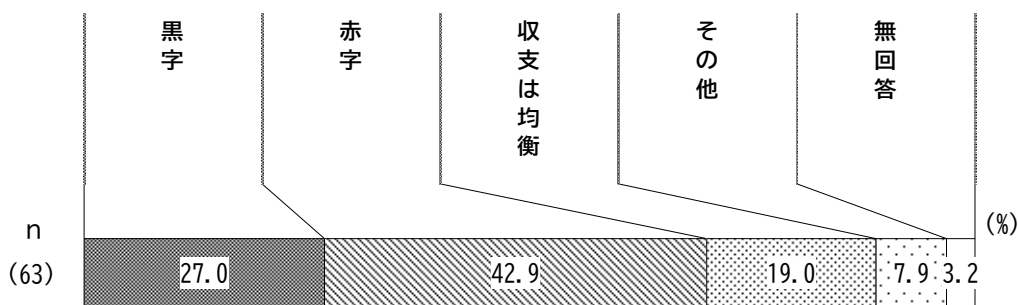
### (1) 事業採算と需要バランスについて（調査F）

#### ①令和6年度の事業採算（調査F問4）

##### 令和6年度の事業採算

■「赤字」が42.9%、「黒字」が27.0%

問4 昨年度の事業採算について教えてください。（○は1つ）



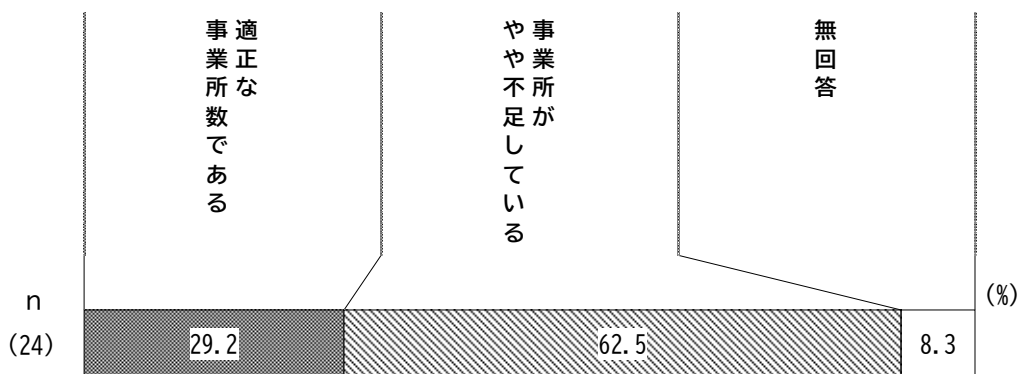
#### ②需給バランスと不足しているサービス（調査F問8、問8-1）

##### 区内の介護サービスの需給バランス

■「事業所がやや不足している」が62.5%

【問8は、「居宅介護支援事業所」の方におうかがいします】

問8 区内の介護サービスをみたとき、サービス利用者数（需要）と事業所数（供給）の関係について、どのように思いますか。（○は1つ）

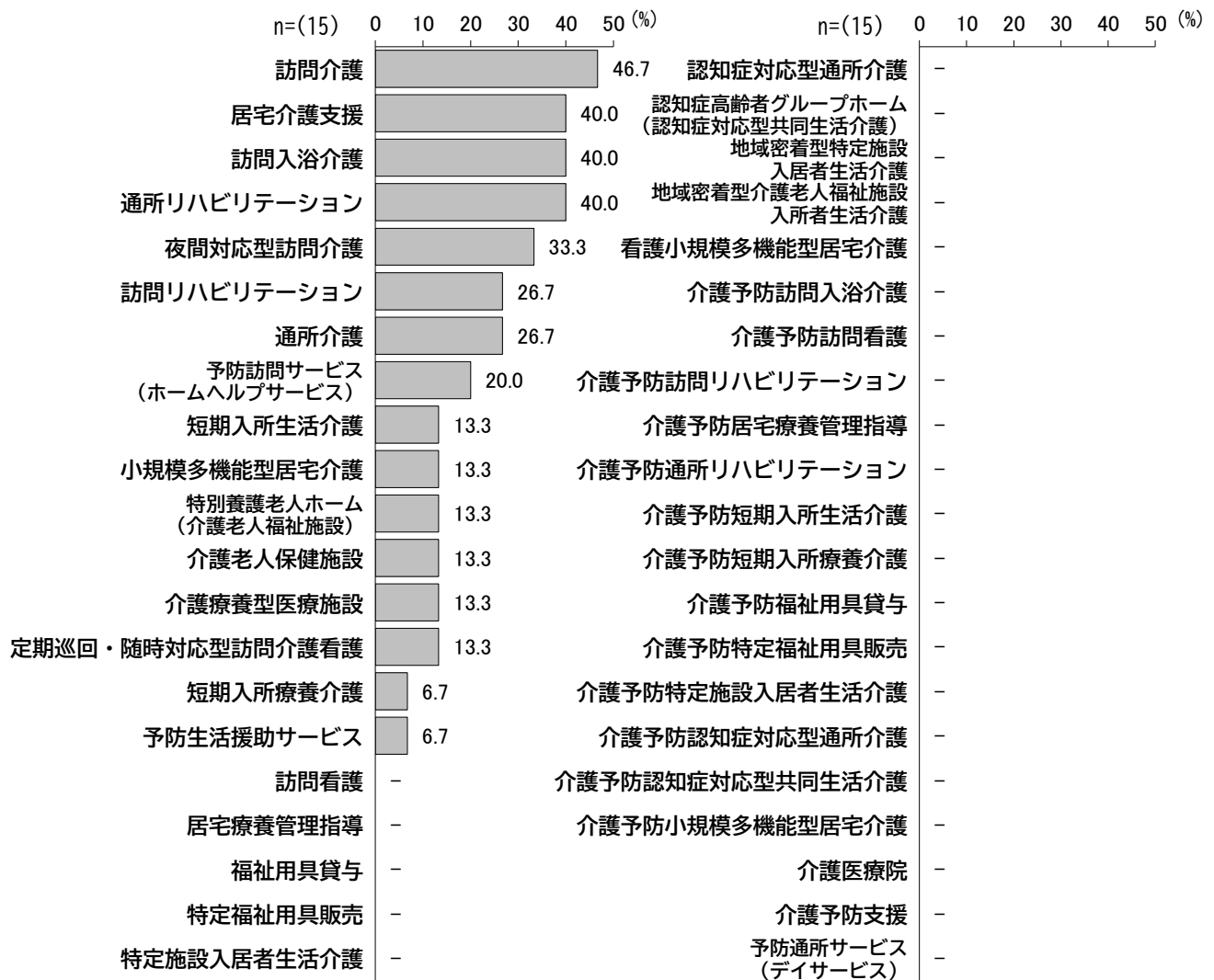


## II 調査結果

### 不足しているサービスの種類

■「訪問介護」が46.7%、「居宅介護支援」「訪問入浴介護」「通所リハビリテーション」がそれぞれ40.0%

【問8-1は、問8で「2. 事業所がやや不足している」と答えた事業所におうかがいします】  
問8-1 不足していると思う介護サービスは次のうちどれですか。(〇は5つまで)



(2) 人材確保・人材育成について (調査F)

①採用者数と離職者数 (調査F問6-1)

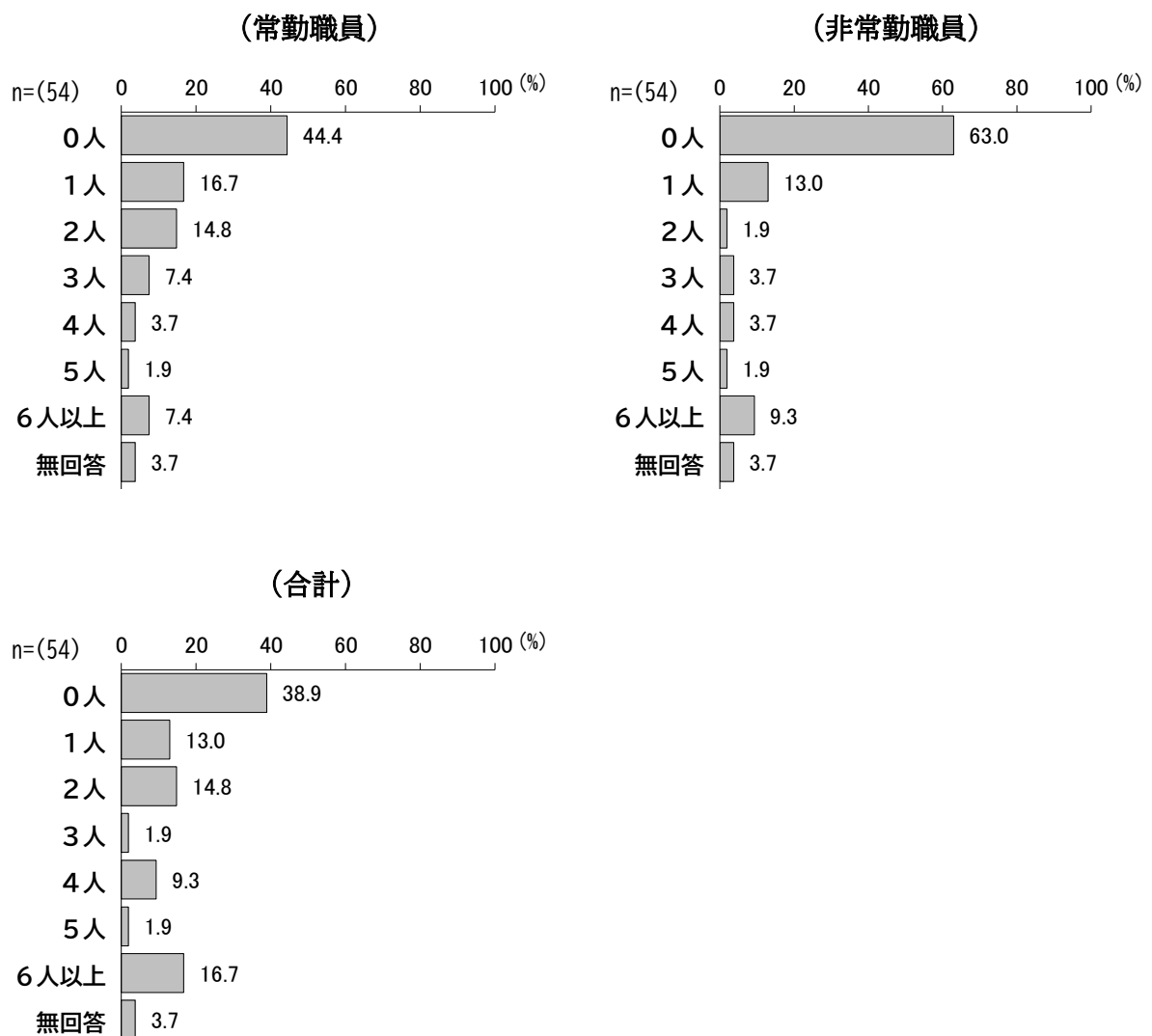
採用者数・離職者数

■採用者数は「0人」が常勤が44.4%、非常勤が63.0%、合計でも38.9%、また、離職者数は「0人」が常勤が59.3%、非常勤が64.8%、合計でも50.0%

【問6-1は、問6で「1. はい」と答えた事業所におうかがいします】

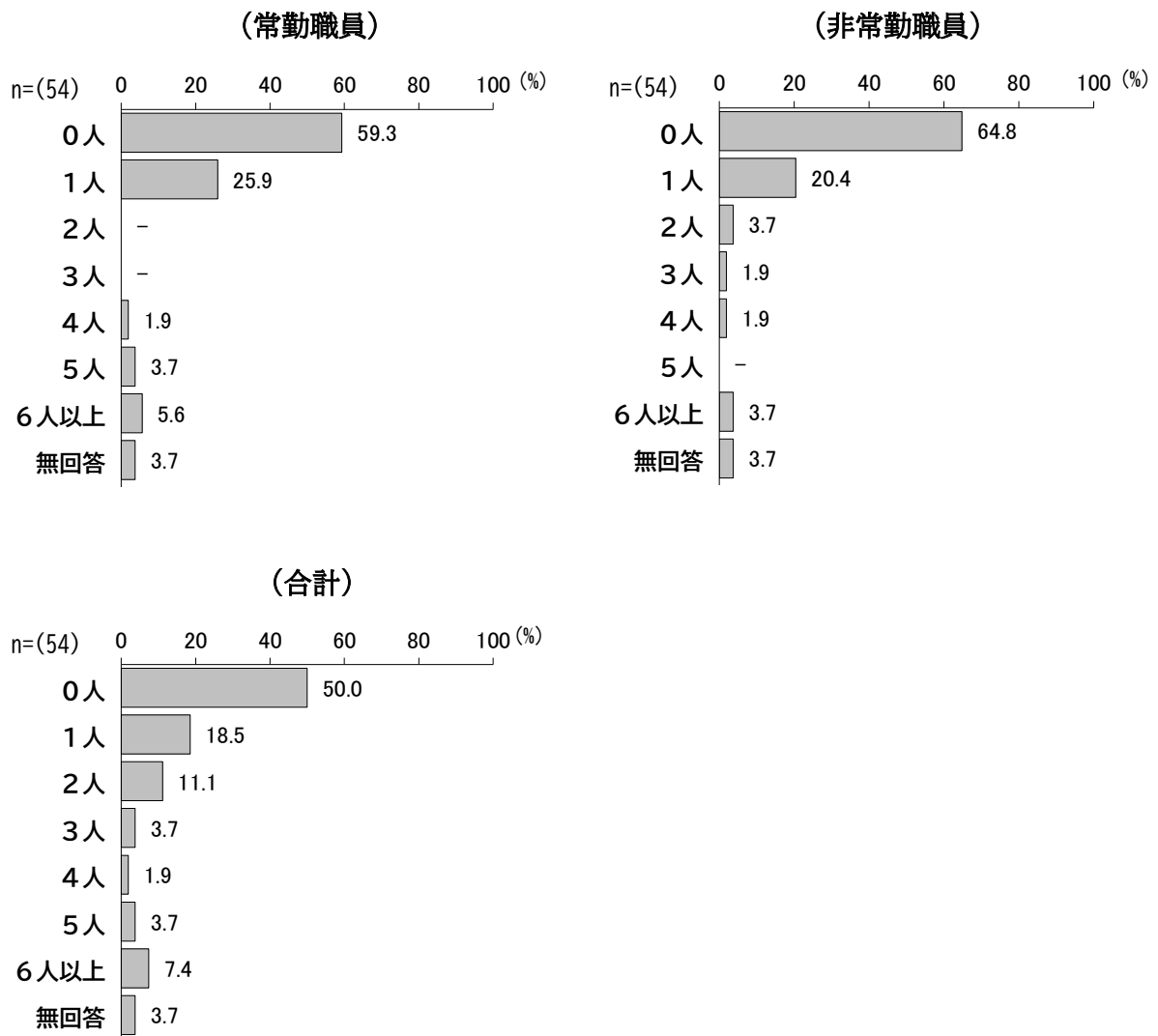
問6-1 過去1年間(2024年10月1日~2025年9月30日)の介護職員の採用者数と離職者数を、常勤・非常勤別にご記入ください。外国人人材も含めてご回答ください。(数値を記入)

採用者数



## II 調査結果

### 離職者数



### 〈採用・離職の差〉

(人)

	全体	常勤職員			非常勤職員			合計		
		平均 ①採用者	平均 ②離職者	採用者と 離職者の差	平均 ①採用者	平均 ②離職者	採用者と 離職者の差	平均 ①採用者	平均 ②離職者	採用者と 離職者の差
全体	52	2.12	0.94	1.18	1.46	0.96	0.5	3.52	1.9	1.62
居宅介護支援事業所	19	1.05	0.84	0.21	1.42	1.42	0	2.47	2.26	0.21
居宅サービス事業所	43	2.42	1.12	1.3	1.74	1.14	0.6	4.09	2.26	1.83
施設・居住系サービス事業所	2	4	3.5	0.5	3.5	4.5	-1	7.5	8	-0.5
介護予防サービス実施事業所	8	2	1.25	0.75	1.25	1.25	0	2.88	2.5	0.38

②採用や人材定着に関する課題（調査F問9、問10）

採用や人材定着に関する課題

問9 採用や人材定着に関して課題があればお書きください。（自由記述）

採用・人材確保について

- ・年間通して求人活動、採用を進めていますが、なかなか採用できない状況。ほしい人材に会えない。定着に関しては、比較的長く勤めてもらっているが、段々と既存の職員も年齢を重ねており、平均年齢が上がっている。
- ・広告、WEBに求人をかけても来ない。採用しても辞める人が多い。

人件費・経営負担について

- ・採用は人材紹介会社などの媒体を通じて応募があるため、人件費が高くなってしまう。自社で採用できる方法を確立することが課題と感じている。
- ・良い人材を採用するのが大変。人材紹介会社より採用した場合は紹介料が多額のため負担が非常に大きい。

人員不足・配置について

- ・ヘルパー不足の為、業務が多忙している。
- ・広報や業界へのイメージを変えないと興味をもってもらうことに辿りついてもらえない。

離職・定着について

- ・入職する職員は、現場経験がない職員が多く、どのように育成して定着させていくか一つの課題である。

専門職確保（看護師・ケアマネジャー等）について

- ・ケアマネジャーの人数が増えない。
- ・他区と比べ、中央区は看護師、療法士の採用応募が少ないと思う。区からの補助などの支援が必要だと思う。

労働環境・働き方について

- ・訪問介護のみの課題だが、運転免許がないと配置が難しいことがネックとなっている。介護業界において外国籍の方を受け入れることが増えているが、期限付きの在留資格から更新する在留資格への切り替えまでの短さ、ハードルの高さを感じ、定着の足かせになっていると感じる。

制度・行政支援について

- ・区からの補助などの支援もないので、採用が課題と思います。

その他

- ・フレックスや在宅ワークを柔軟にとり入れることや、FAXだけでなくメールを活用し働きやすい環境作りが必要。
- ・若い人材が少ない。

## II 調査結果

### 人材確保に関して区に期待すること

問10 人材確保に関して区に期待することをお書きください。(自由記述)

#### 介護職のイメージ・魅力発信について

- ・ドラマなどで介護をやりたくなるような良いイメージを作ってもらえるといいと思う。
- ・介護職の魅力発信や介護職を目指す方への補助などがあると、人材の底上げに繋がるかもかも知れない。

#### 採用支援・紹介制度について

- ・無料紹介システム、または、有料紹介会社を利用した際の補助金などの検討。
- ・紹介や案内が必要だと思う。
- ・コストを抑えるため、中央区独自で介護職を募集し、事業所を紹介する場を設けてほしい。

#### 補助金・経済的支援について

- ・人材確保に対して補助金を出してほしい。

#### 研修・人材育成について

- ・地域の方を対象とした介護人材育成をしてもらえたら嬉しい。

#### 研修・人材育成について

- ・区からの給料アップにつながるような支援があればと思う。
- ・人材確保に要する費用や外国籍の方を受け入れることに対する支援制度が、より充実することを期待している。

#### その他

- ・若い人へのアピール。
- ・MCSを活用し、事務処理の軽減を図ることが必要だと思う。

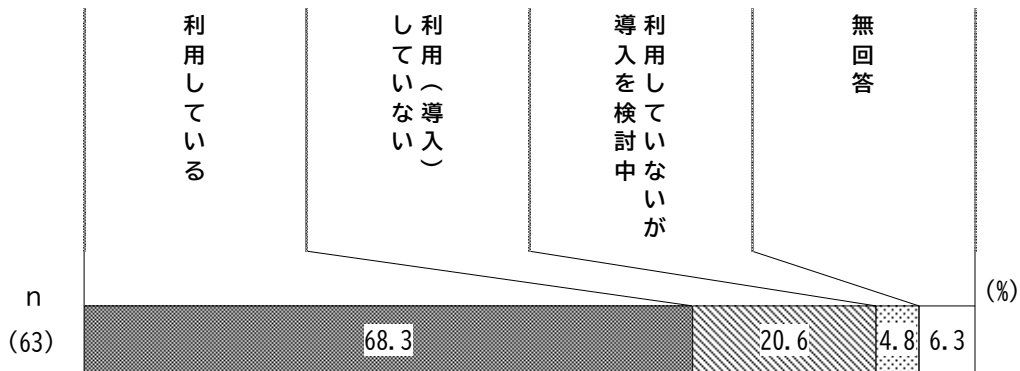
(3) ICT機器・介護ロボットの活用について（調査F、調査G）

①介護事業における生産性向上ツールの利用状況（調査F問11、調査F問12／調査G問13）

介護事業における生産性向上ツールの利用状況

■「利用している」が68.3%

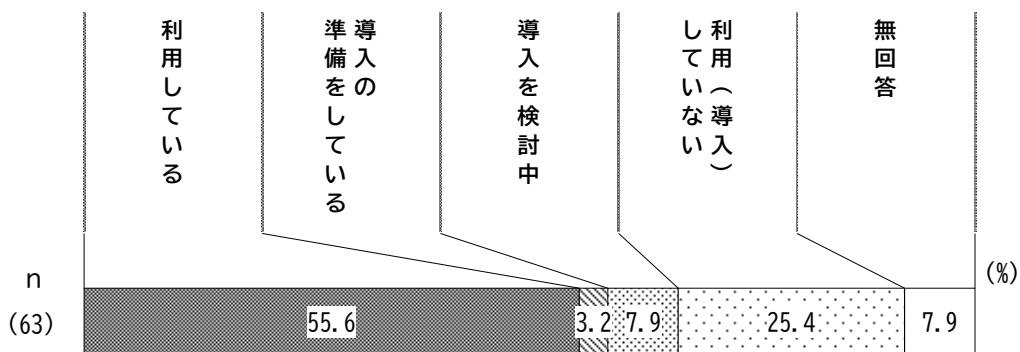
問11 貴事業所では、生産性向上のためにツールを利用していますか。（○は1つ）



多職種連携ICTシステムの利用状況／介護保険サービス事業所

■「利用している」が55.6%、「利用（導入）していない」が25.4%

問12 貴事業所では、多職種連携 I C Tシステムを利用していますか。（○は1つ）

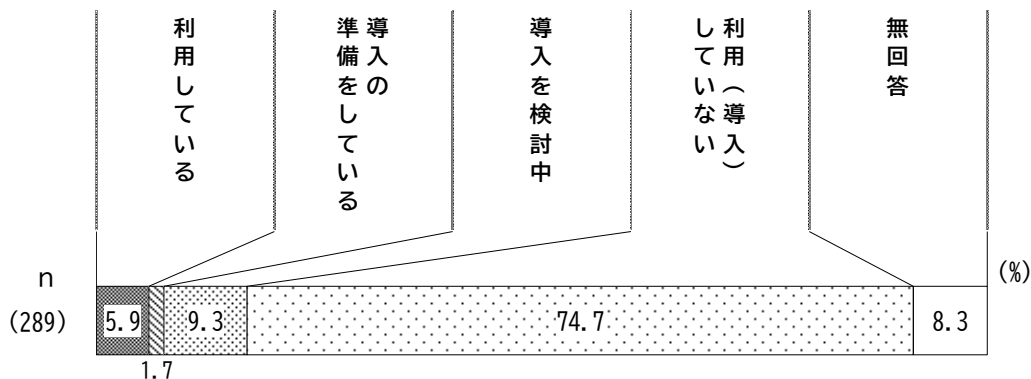


## II 調査結果

### 多職種連携ICTシステムの利用状況／医療機関

■「利用（導入）していない」が74.7%

問13 貴医療機関では、多職種連携 I C Tシステムを利用していますか。（○は1つ）



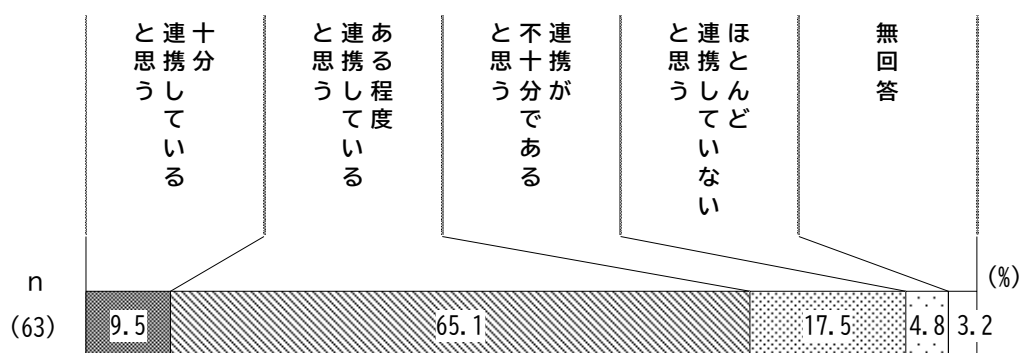
### (4) 医療と介護の連携について（調査F）

#### ①医療・介護の連携の状況（調査F問13）

#### 医療・介護の連携の状況

■「ある程度連携していると思う」が65.1%

問13 在宅療養者を支える医療と介護の連携の状況についてどのように思いますか。（○は1つ）



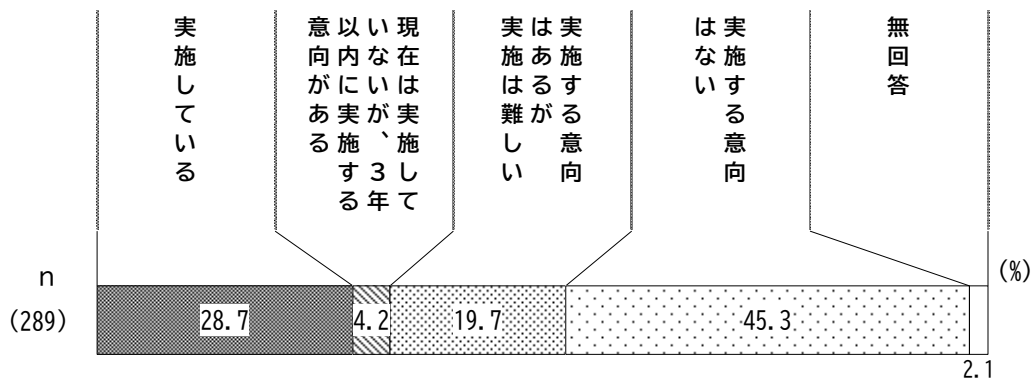
(5) 在宅医療の現状と課題について（調査E、調査F、調査G）

①在宅医療の実施状況と意向（調査G問3、問3-1）

往診・訪問診療の実施状況と意向

■「実施する意向はない」が45.3%、「実施している」が28.7%

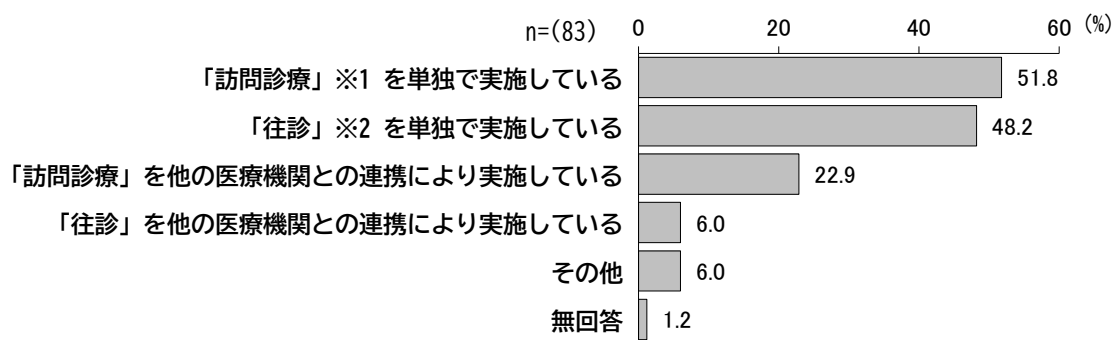
問3「往診」や「訪問診療」を実施していますか。また、今後実施する意向がありますか。  
（○は1つ）



在宅療養支援の実施状況

■「『訪問診療』を単独で実施している」が51.8%、「『往診』を単独で実施している」が48.2%

【問3-1は、問3で「1. 実施している」と答えた医療機関におうかがいします】  
問3-1 在宅療養支援の実施状況についてお聞きします。（○はいくつでも）



※1 訪問診療…通院の困難な患者に定期的に訪問して行う診療。

※2 往診…患者の求めに応じて急変時に訪問して行う診療。

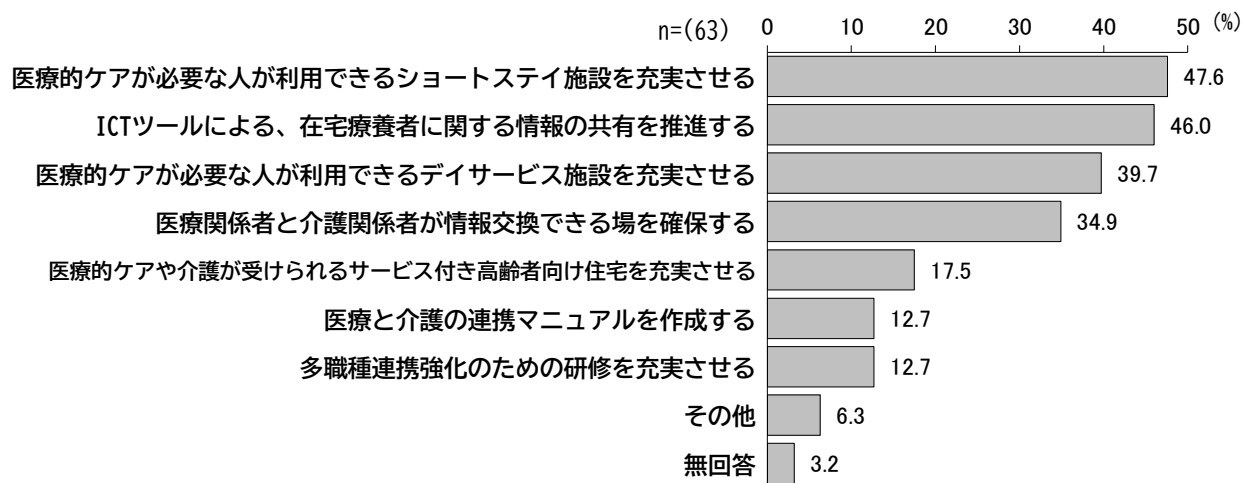
## II 調査結果

### ②在宅医療の課題（調査F問15／調査G問21）

#### 在宅療養支援推進に向けての課題／介護保険サービス事業所

■「医療的ケアが必要な人が利用できるショートステイ施設を充実させる」が47.6%、「ICTツールによる、在宅療養者に関する情報の共有を推進する」が46.0%

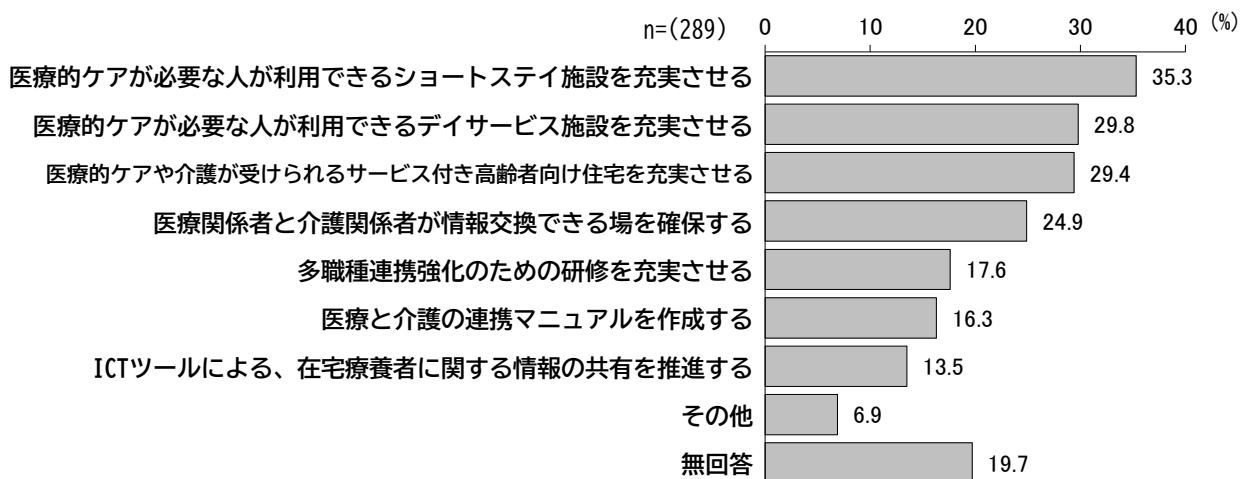
問15 医療と介護を一体的に提供し、在宅療養支援を進めていくため、医療機関、介護サービス事業者、行政はどのようなことに取り組む必要がありますか。（○は3つまで）



#### 在宅療養支援推進に向けての課題／医療機関

■「医療的ケアが必要な人が利用できるショートステイ施設を充実させる」が35.3%、「医療的ケアが必要な人が利用できるデイサービス施設を充実させる」が29.8%、「医療的ケアや介護が受けられるサービス付き高齢者向け住宅を充実させる」が29.4%

問21 医療と介護を一体的に提供し、在宅療養支援を進めていくため、医療機関、介護サービス事業者、行政はどのようなことに取り組む必要がありますか。（○は3つまで）



③居所変更した人の要支援・要介護度（調査E）

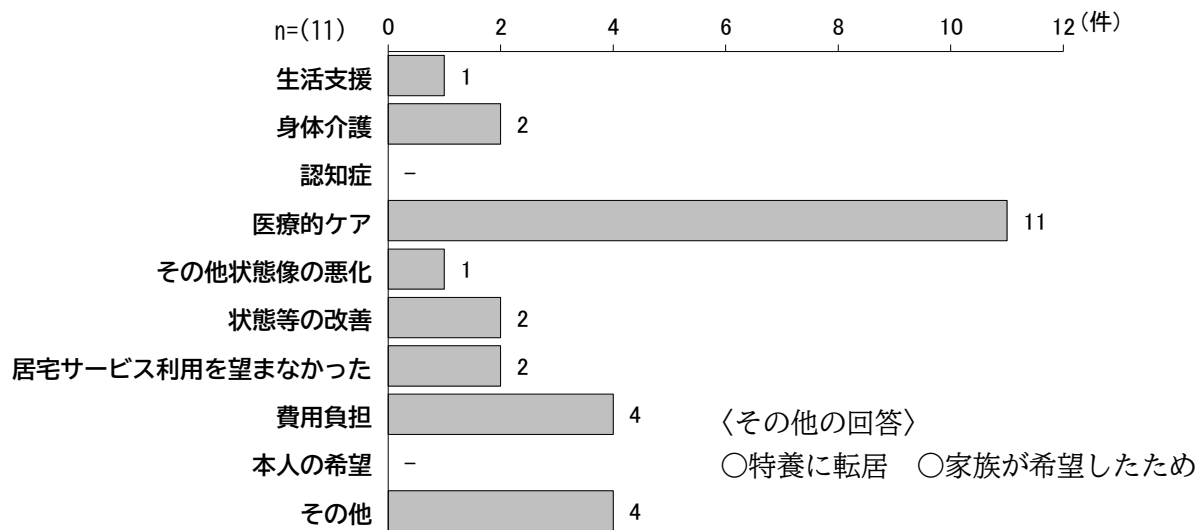
居所変更した人の要支援・要介護度

サービス種別	自立	支1	支2	介1	介2	介3	介4	介5	死亡	申請中	合計
住宅型有料 (n=0)	0人 0.0%	0人 0.0%	0人 0.0%	0人 0.0%	0人 0.0%	0人 0.0%	0人 0.0%	0人 0.0%	0人 0.0%	0人 0.0%	0人 0.0%
軽費 (n=0)	0人 0.0%	0人 0.0%	0人 0.0%	0人 0.0%	0人 0.0%	0人 0.0%	0人 0.0%	0人 0.0%	0人 0.0%	0人 0.0%	0人 0.0%
サ高住 (n=0)	0人 0.0%	0人 0.0%	0人 0.0%	0人 0.0%	0人 0.0%	0人 0.0%	0人 0.0%	0人 0.0%	0人 0.0%	0人 0.0%	0人 0.0%
GH (n=3)	0人 0.0%	0人 0.0%	0人 0.0%	0人 0.0%	1人 11.1%	2人 22.2%	2人 22.2%	1人 11.1%	3人 33.3%	0人 0.0%	9人 100.0%
特定 (n=3)	0人 0.0%	0人 0.0%	1人 1.2%	2人 2.4%	0人 0.0%	1人 1.2%	5人 5.9%	5人 5.9%	71人 83.5%	0人 0.0%	85人 100.0%
地密特定 (n=0)	0人 0.0%	0人 0.0%	0人 0.0%	0人 0.0%	0人 0.0%	0人 0.0%	0人 0.0%	0人 0.0%	0人 0.0%	0人 0.0%	0人 0.0%
老健 (n=1)	0人 0.0%	0人 0.0%	0人 0.0%	4人 2.7%	21人 14.3%	32人 21.8%	65人 44.2%	25人 17.0%	0人 0.0%	0人 0.0%	147人 100.0%
介護医療院 (n=0)	0人 0.0%	0人 0.0%	0人 0.0%	0人 0.0%	0人 0.0%	0人 0.0%	0人 0.0%	0人 0.0%	0人 0.0%	0人 0.0%	0人 0.0%
特養 (n=2)	0人 0.0%	0人 0.0%	0人 0.0%	0人 0.0%	1人 1.2%	1人 1.2%	6人 7.0%	0人 0.0%	78人 90.7%	0人 0.0%	86人 100.0%
地密特養 (n=2)	0人 0.0%	0人 0.0%	0人 0.0%	0人 0.0%	0人 0.0%	2人 11.1%	1人 5.6%	2人 11.1%	13人 72.2%	0人 0.0%	18人 100.0%
合計 (n=11)	0人 0.0%	0人 0.0%	1人 0.3%	6人 1.7%	23人 6.7%	38人 11.0%	79人 22.9%	33人 9.6%	165人 47.8%	0人 0.0%	345人 100.0%

④居所変更の理由（調査E）

居宅変更した理由

各施設等から居宅変更した理由をみると、「医療的ケア」「費用負担」などとなっている。



## II 調査結果

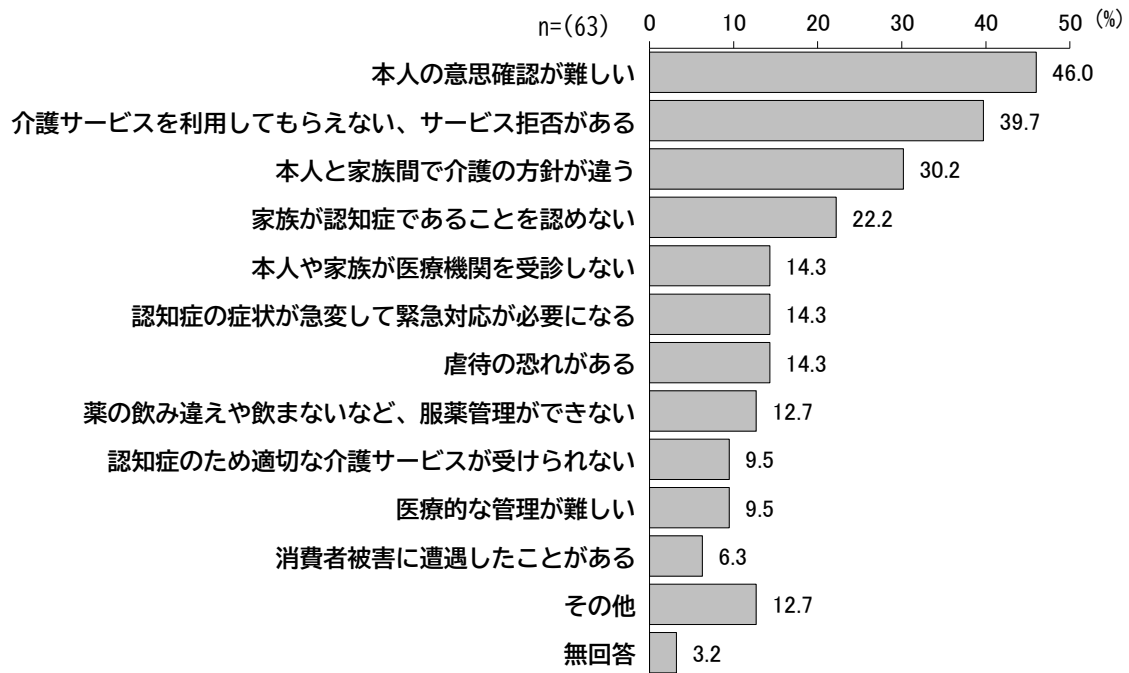
### (6) 認知症の方や家族の支援について（調査F、調査G）

#### ①利用者の状況で大変なこと（調査F問20、調査G問7）

認知症の利用者の状況で大変なこと／介護保険サービス事業所

■「本人の意思確認が難しい」が46.0%で、「介護サービスを利用してもらえない、サービス拒否がある」が39.7%

問20 認知症の利用者の状況で実際にあり、大変なことは何ですか。（○は3つまで）



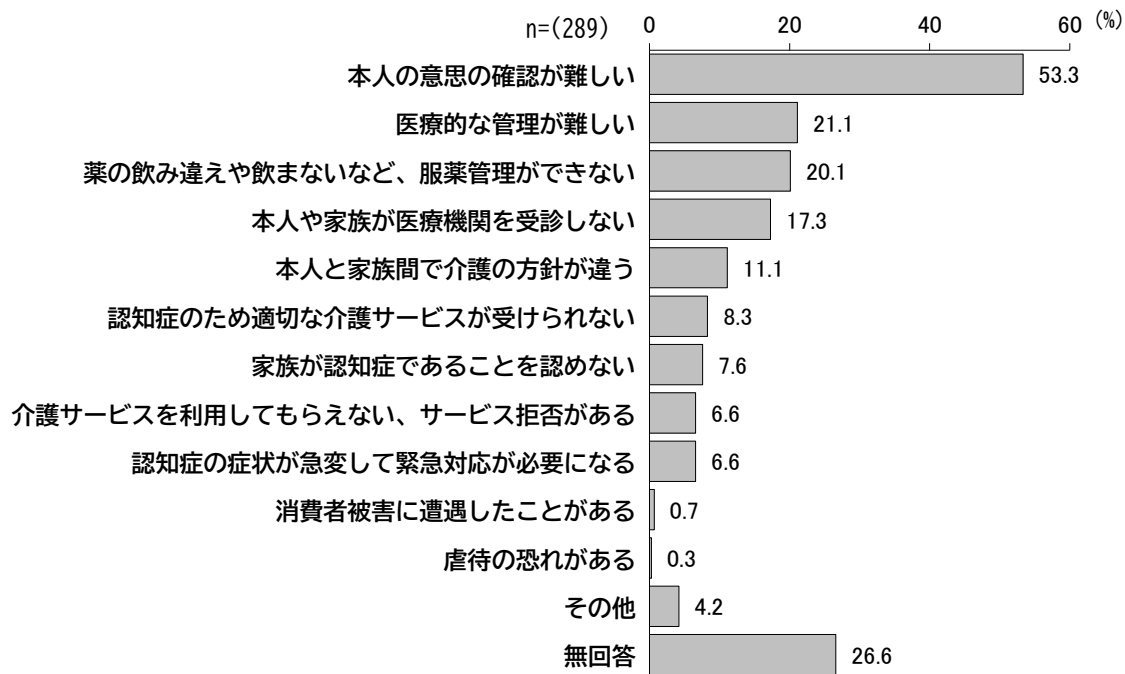
〈その他の回答〉

○家族を支えるサービスが乏しい ○信頼関係を持続させることが難しい

認知症の患者の状況で大変なこと／医療機関

■「本人の意思の確認が難しい」が53.3%

問7 認知症の患者の状況で実際にあり、大変なことは何ですか。(○は3つまで)

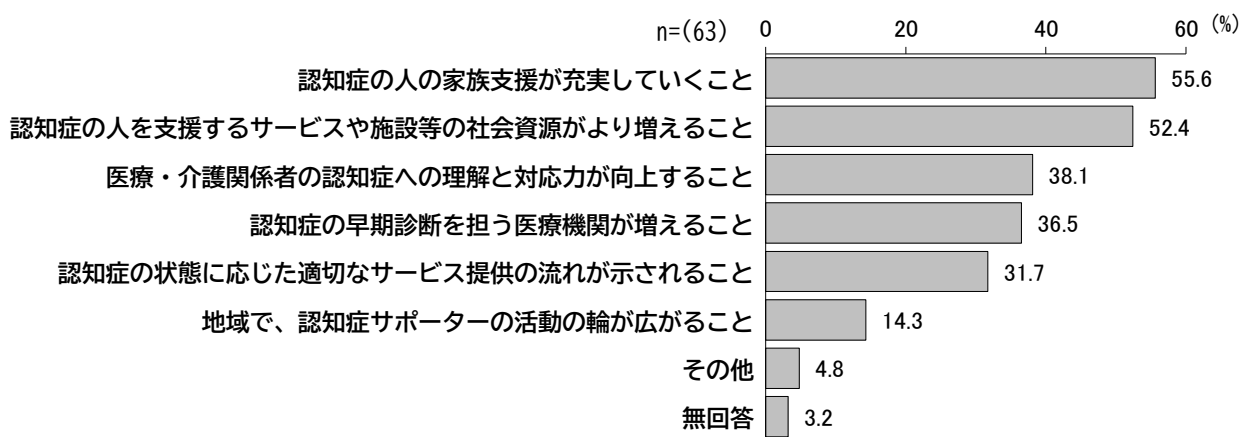


②認知症の方や家族への支援で必要なこと（調査F問21、問22）

認知症の方の支援で特に必要と思われること

■「認知症の人の家族支援が充実していくこと」が55.6%、「認知症の人を支援するサービスや施設等の社会資源がより増えること」が52.4%

問21 認知症の方の支援にあたり特に必要と思われることは何ですか。(○は3つまで)

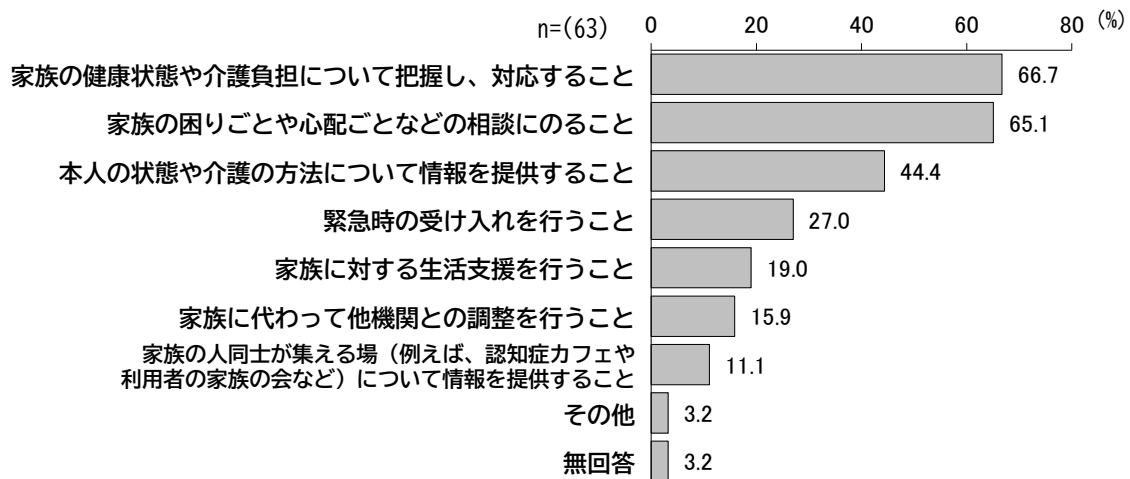


## II 調査結果

認知症の利用者の家族への支援として特に必要と思われること

■「家族の健康状態や介護負担について把握し、対応すること」が66.7%、「家族の困りごとや心配ごとなどの相談にのること」が65.1%

問22 認知症の利用者の家族への支援として特に必要と思われることは何ですか。(○は3つまで)

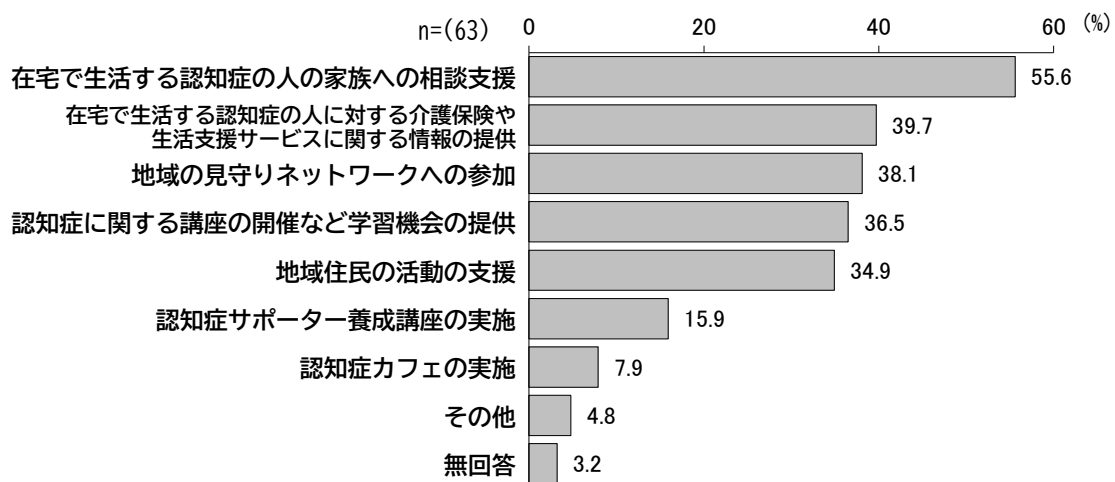


### ③地域住民の認知症の理解を促進するために必要なこと（調査F問23）

地域住民の認知症の理解を促進するために特に必要と思われること

■「在宅で生活する認知症の人の家族への相談支援」が55.6%

問23 地域住民の認知症の理解を促進するために特に必要と思われることは何ですか。(○は3つまで)



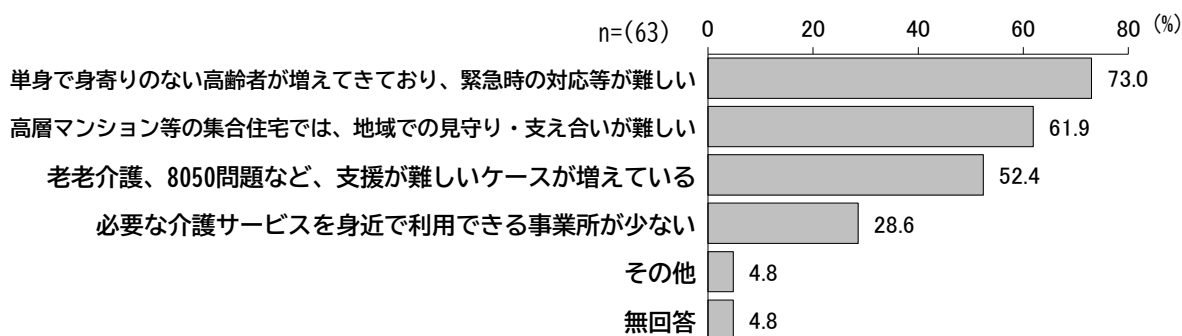
(7) 地域の課題について (調査F)

①地域の生活課題 (調査F問25)

利用者の生活支援をして感じている地域の生活課題

■「単身で身寄りのない高齢者が増えてきており、緊急時の対応等が難しい」が73.0%、「高層マンション等の集合住宅では、地域での見守り・支え合いが難しい」が61.9%、「老老介護、8050問題など、支援が難しいケースが増えている」が52.4%

問25 利用者の生活支援をしていて、地域の課題だと思われることは何ですか。(○は3つまで)

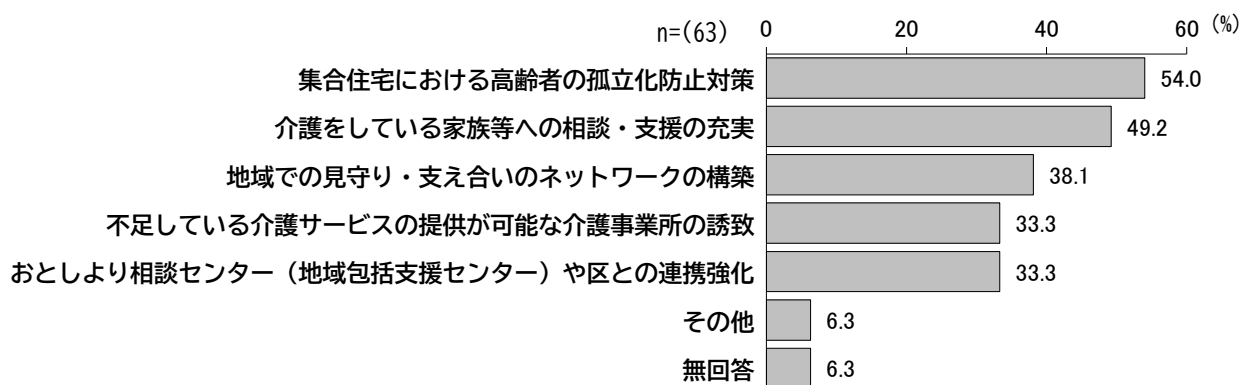


②課題解決のために必要なこと (調査F問26)

地域課題解決のために必要だと考えること

■「集合住宅における高齢者の孤立化防止対策」が54.0%、「介護をしている家族等への相談・支援の充実」が49.2%

問26 地域課題の解決のため、必要と思われることは何ですか。(○は3つまで)





---

中央区高齢者の生活実態調査および  
介護サービス利用状況等調査 報告書（概要版）

令和8（2026）年3月発行

刊行物登録番号  
7-095

編集・発行

中央区福祉保健部 高齢者福祉課・介護保険課  
〒104-8404 東京都中央区築地一丁目1番1号  
電話：03-3546-5353（高齢者福祉課 直通）  
03-3546-5642（介護保険課 直通）